大正九年……第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　十二月十三日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月壹圓　……
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用③三二〇五　營業局專用③三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

上海南京附近の支那軍 續々皇軍に歸順
武漢攻略後の士氣沮喪顯著

【上海十三日發國通】武漢の攻略を契機として各地の支那軍遊擊隊はその統制著しく紊れ、資金難、糧食難も加つて最近とみに戰意を喪失して歸順して來るものが増加しつゝあり、最近上海、南京附近のものだけで左の如く多數に上つてゐる

一、常德附近の遊擊隊の一部蘇州、上海附近の匪賊は何れも皇軍の武威に服し抵抗を斷念して逐次歸順し來りつゝある

一、太湖東南岸一帶にあつた程萬軍は部下約一萬、小銃八千、機關銃三百、重機關銃二百五十、迫擊砲三十を携へ蘇州特務機關長の下に正式歸順をなした

一、上海附近の遊擊隊徐洪發および金鳳呆はそれ〲部下約八百、小銃五、六百、機關銃約五十と共に正式歸順した

我軍當局ではこれら歸順者には何れも旅費を與へ歸鄕せしめてゐるが、彼等は溫情溢るゝこの處置に感激し維新政府の下にそれ〲平和復興建設の正道を步みつゝある、併しながら他方の遊擊隊の中には戰意を失ひ自棄的となり完全に匪賊化して掠奪のみする者が少くない、上海、江陰、長江沿岸および上海南方奉賢、金山に至る一帶の地區にもかゝる遊擊隊の匪賊化したもの約五、六萬が散在し良民の生活を脅かしつゝあり、皇軍はその芟除に努力しつゝあるが最近十一月中旬から月末に至る主要なる皇軍の匪賊討伐狀況は左の如くである

一、無錫附近　機關銃を有する約七百の敵、戰果遺棄死體八十、鹵獲小銃百、拳銃三十、捕虜二十、わが損害戰死二、負傷五

二、常州附近　迫擊砲を有する約二千の敵、戰果遺棄死體二百、鹵獲小銃二百五十、迫擊砲二、捕虜七十、わが損害戰死五、負傷卅

三、如皐　迫擊砲を有する約一萬五千の敵、戰果遺棄死體五百六十、鹵獲迫擊砲二十、機關銃五十、小銃五百、わが軍損害なし

四、通州附近　迫擊砲を有する約五千の敵、戰果遺棄死體百、鹵獲兵器多數、わが損害戰死二、負傷三十

五、海門附近　機銃を有する敵、戰果相當の損害を與へた、わが負傷十

六、川沙附近　機關銃を有する約七百の敵、戰果死體百、捕虜二十

七、閔行附近　約五百の敵、戰果死體五十、我負傷十五

八、青浦附近　迫擊砲を有する約九百の敵、戰果死體五十、捕虜二十、我戰死二、負傷二十

毛澤東の青海首席 土着軍激怒す
絕對入省を許さぬ方針

【北京十二日發國通】情報によれば蔣介石は一月上旬毛澤東を青海省首席に任命したといはれ、從來青海省の有力土着軍を率ゐる馬步芳は之に憤慨しその入省を拒否すると共に共産軍の青海侵入を警戒しこれに備へてゐる、毛澤東の青海省首席任命は過般行はれた第一戰區總司令程潛と朱德との更迭と共に西北に共産軍西南に直系軍をもつて第四期抗戰を圖る國民政府の新戰略と見られるが、首都西寧を根據とする馬步芳は西北土着軍の總帥として强力な軍隊を有すると共に青海省は西北各省中の最も豐穰なる土地であるから思想上民族意識上相容れず、共産軍の入省を許さゞることは當然であり今後の成行きは注目される

廣東攻略部隊の武勳上聞に達す

【東京國通】疾風迅雷の奇襲よくバイアス灣上陸に成功し世界の耳目呆然たるうちに忽ち廣東を攻略して赫々たる武勳を樹てた久納部隊、同及川部隊、同配屬部隊に對し軍司令官よりそれ〲感謝狀が授與せられ、同時に上聞に達せられた旨十二日大本營陸軍部より發表された

山東西南部の殘敵討伐狀況

【濟南十二日發國通】山東省の警備及び匪賊討伐に寧日なき活躍を續けてゐるわが○○部隊は現在山東省西南部に蟠居する敵の大討伐を敢行中であるが、同部隊は南京攻略戰に武名を轟かせた荒武者揃ひで近時山東の治安は著しく回復し、一部を除いて省內には殆んど匪賊集團の影を見ざるに至つた、炎熱灼くが如き三伏の酷暑から寒氣肌をつんざく十一月までにおける同部隊の山東匪團討伐戰果は左の如し

遭遇敵兵力五萬餘、九、十兩月敵遺棄死體七千九百八十七、捕虜六十二、鹵獲品小銃三千七百廿一、各彈藥十萬七千二百九十五、迫擊砲四十、軍衣三千卅八、その他拳銃、機關銃、自動車無電機等莫大なる數に上つてゐる

新墻の敵を猛爆

【漢口十二日發國通】わが陸軍航空隊の諸隊は十一日午前九時半最近盛んに兵力を增强しつゝあつた岳州南方新墻附近の敵陣地を襲ひ地上よりの對空砲火を物ともせず低空飛行を敢行、同地に集結中の敵部隊に巨彈の雨を降らせて大損害を與へ三ヶ所に火災を起さしめて全機無事歸還した

南京攻略の想も新た 回顧する一年前
けふ有意義な祝典擧行

【南京十三日發國通】盧溝橋事件に端を發して暴支膺懲の聖戰に敢然矛を取つて起つた皇軍が忽ちにして

北支

を席卷したのと相前後して上海附近の敵陣を突破し杭州灣上陸部隊と呼應して破竹の勢をもつて西進また西進したわが中支派遣軍が遂に敵の首都南京を攻略、光華、中華、中山と南京城の城門に相次いで日章旗を掲げてより早くも一年、世界史上に永遠に記念すべき光輝あるその日は遂に來つたのだ、思へば當時南京城を目指して駒を進めつゝあつたわが中支派遣軍最高指揮官松井石根大將はこれより先十二月九日南京防衞司令官唐生智に對し投降勸告の武道的措置に出たのであるが、敵は情誼を盡した我勸告にも何等反省の實を示さず、却つてわれに挑戰するの態度に出たので十日正午を期して大擧總攻擊の火蓋は切られたのである、然し敵千年の歷史を誇る南京城は蜿蜒三キロの城壁をもつて圍まれ加ふるに近代的設備をもつて

防備

されてゐたので、これが攻略に向つたわが軍は相當の苦戰を餘儀なくされたが、十日午後五時脇坂部隊が光華門に突入一番乘りを敢行したのをきつかけに中華、中山の兩門も相踵いでわが軍の手に歸し十三日首都南京は完全にわが軍の占領するところとなつたのである、同日午後十時軍報道部から皇軍の南京城占領について「江南の空澄み日章旗高く夕陽に映じ皇軍の威容紫金山を壓せり」と歷史的な公表を行つた、これぞ敵の首都を屠つて意氣軒昂たる皇軍の威武を描寫して餘地ない名文句で一年前の今日を回想して轉た感慨無量のものがある、一年の星霜を閱した今日これらの戰跡を探り地下に眠る忠勇義烈の幾多の將兵の英靈をとむらう者は引きも切らず崩れ落ちた城壁と蜂の巣の如き無數の彈痕にそゞろ當時の激戰の跡を偲んでゐる、城壁を取卷く湖やクリークには或は打網或は糸を垂れ或は四手網を引く太公望の姿が散見し和やかな雰圍氣に包まれてゐるのが今日の南京城圍壁の姿である

皇軍

の投降勸告に應じなかつたばかりに一時修羅の巷と化した南京も皇軍の手中に歸するやその指導宜しきを得て瞬時にして建直り治安維持會の成立によつて次ぐ維新政府の誕生によつて雄々しく復興の巨步を踏出し瞬く間に維新政府の首都として恥しからぬ體容をとゝのへ中央統一政權の樹立と共に中支はおろか全支に號令せんとする氣勢を示してゐる、此光輝ある記念日を迎へて南京では官民協力して最も有意義にこの日を過すべく午前十一時より日本人小學校において祝賀式典を開くを皮切りとして在留民による陣歿將士墓地參拜、入院傷兵慰問が行はれついで勇しい軍樂隊の南京市內行進

夜は

南京放送局にて南京占領の思ひ出を語る座談會が開かれ、治安回復後においても事變下にあることを忘れない質實な催しものによつて意義深き一日を送ることゝなつてゐる

梁院長談話發表

【上海十三日發國通】維新政府行政院長梁鴻志氏は南京攻略一周年に當る十三日支那民衆に對し左の如き談話を發表し、中國更生に對する國民の自覺を促した

□

本日は十二月十三日である、本日が如何なる日であるか諸君は記憶してゐるであらう、共産黨に利用され輕々しくも戰鬪を開き無數の難民を出した國民政府は此六朝の勝地を一朝にして灰燼に歸せしめたのが實に昨年の今日であつたこの一年間國民政府の焦土政策のために流離彷徨の末死んで行つた良民や燒拂はれた民家の數はどの位あつたか判らない、この南京だけでも彈痕至る所に留まり悲慘を極めた他の地方においてもその慘狀は推して知るべきである、この嚴寒の時に當つて幾千萬の無辜の民衆は老幼相擁して怨嗟に泣いてゐる、かゝる禍ひを釀したのは一體誰であるか苟くも理性ある者はこの際充分自覺すべきである、專橫國を過る國民黨政府は既に人民の信望を失ひその崩壞する時は中國の不運去つて幸運の來る時である、本政府は天運に應じて誕生せり、古人の語に曰く「過去の一切は昨日死して今後の一切は今日に生る」と中國は亞細亞における最大の國であり、日本は東亞最强の國である、兩國唇齒相輔け何等の不和もなかつた、然るに國民政府は誤つた聯共政策を取り少數の愚民これに盲從し敗戰の結果は僅かに殘れる西南數省を灰燼に歸せんとし、その惡虐飽くことなき實に憎みても餘りあるものである、新政府は成立して今や十ヶ月未だ擧らざるも、實際國民を慰むべき充分なる實績をつゝあることは世人も亦これを諒とする所であらう、冀くはわが父老子弟、新政府既に成立せる今日、毅然自覺して相攜へ當地に復歸せよ、今からでも遲くはない、中華民國維新の秋、東亞平和成るの日、即ち世界平和の始まるの日である

度を越した逆宣傳に 米國人も呆れて相手にせず
支那ニユース寫眞僞造大味噌

【東京國通】米國の反日熱を煽るため蔣政府はあらゆる手段をつくしてデマ宣傳に躍起となつてゐるが、度を過したデマ宣傳のため最近では米國人すらこれを相手にしなくなつてゐる、即ちデマに乘り易い米國人の心理を利用して支那側が「日本兵士の慘虐」といふ見出しで全米各新聞、雜誌に寫眞を掲載させたが、之は支那人捕虜を日本士官が銃劍の練習として刺殺してゐるニユース寫眞で、これが掲載されるや有名なジヤーナリストでニユース寫眞の研究家ジヨセフ・ヒルトンスマイス氏は早速月刊ロウダウン誌上にこの寫眞は全然インチキのトリツク寫眞だ、こんな出鱈目なものでだまされる米國人が今度一人でもあつてはならない と痛擊し、更に例の寫眞はトランス・パシフイツク・ニユース・サーヴイス會社によつて撒布配給されA・Pまで信用したが、この寫眞には面白い歷史がある、最近これが使はれたのは一九一九年國民政府が當時奧地を荒してゐた軍閥を打倒するために曾つてベルギーが作つたと同じ手法でトリツクを用ひて製造し上海で賣出したが續いて一年後には共産支那軍士官が元の東三省軍の捕虜を拷問してゐる實狀として賣り、更にこの寫眞は休むまもなく一九三一年滿洲へ日本が出兵すると反對材料としてバラ撒かれ一九三四年には蔣介石が支那赤軍を掃蕩する一手段として共産軍の慘虐に使はれ遂に五度目が日本の慘虐に化けたと云ふ因緣づきのもので、米國の反日感情を惹き起さうとしたものである と暴露し 日本兵の戰鬪帽を模造してこれを冠つた支那兵が自國の重傷者を刺してゐる方がよつぽど慘虐以上の慘虐行爲だ と完膚なきまでに支那軍の暴虐振りを痛擊してゐる

石家莊附近を荒し廻つた 强盜團逮捕

【石家莊十二日發國通】本年九月頃から石家莊を中心に豐富なる武器を擁して附近町村を荒し廻る大規模の强盜團出現、同地內外住民惱みの種となつてゐたが、石家莊憲兵分隊において百方努力搜査の結果その根據を探知し十日午前一味の抵抗を排して石家莊居住首魁王慶安（二一）以下十七名を一網打盡に逮捕した、取調の結果首魁王慶安は元中央軍第二路軍の正規兵で敗戰落伍して脫走、武器を所持せる同類脫走兵を語らひ巨額に上る金品を强奪、その被害は相當額に上る見込で、一味は機會を窺ひ石家莊の焦土化を企圖、そのどさくさにまぎれ大仕事を目論んでゐたものを未然に防いだものである

裏縣一帶に强制募兵
逃亡者續出

【北京十日發國通】京漢線許州西南方面を視察して歸來せる者の談によれば裏縣一帶には第九路軍の一隊が蟠居し最近兵力不足を來し銳意募兵を急いでゐるが十八歳以上四十五歳までの男子は事情の如何によらず强制徵募し郟縣においてもこれと同樣縣政府は十二月十五日までに凡そ一千五百の徵募を行ふ方針である、これがため同地附近は逃走者續出して怨嗟の聲高く目下のところ豫定の徵募は全く不可能とされてゐる

香港の對南支貿易衰微の一途

【香港十日發國通】南支作戰以來香港の對南支貿易は急轉直下衰微への一途を辿つてゐるが十一月中の香港對南支貿易は左の如くで昨年同期に比較し貿易總額は千六百十萬弗の激減である（單位萬弗）

△十一月中

輸出	三九〇
昨年同月	一、二三〇
輸入	四三〇
昨年同月	一、二〇〇

モスクワ庫倫間電話線開通

ソ聯政府が外蒙との連絡線確保に躍起となつて建設中であつたモスクワ＝庫倫、チタ＝庫倫間の電話線は去る十一月廿六日開通したことが判明した、同線は軍事上ならびに政治的な役割をもつもので注目される

人事往來

着京

▲鮎川義介氏（滿業總裁）十二日東京ヤマトホテル ▲岸本勘太郎氏（滿業）同 ▲吉野信次氏（滿業副總裁）同 ▲木下忍立氏（會社員）同 ▲八丁虎雄氏（同）同 ▲園田一房氏（同）同 ▲重滿洋氏（商業）同 ▲前田靜勝氏（大倉商事）國都ホテル ▲藤澤常吉氏（商業）同 ▲伊平太郎氏（鑛業）同 ▲小野安勝氏（請負業）同 ▲不破利輔氏（商業）同 ▲矢部隆常氏（會社員）滿蒙ホテル ▲鹽澤茂氏（銀行員）同 ▲西本鋼氏（會社員）同 ▲安藤嘉市氏（同）同 ▲毛利富一氏（官吏）同 ▲堀池信氏（商業）ニユーアジアホテル ▲楠木元造氏（會社員）同 ▲加藤正一氏（官吏）同 ▲酒井榮一氏（同）同 ▲伊東熊次郎氏（石炭商）大都ホテル ▲松田太郎氏（滿鐵社員）同 ▲小野寺完爾氏（官吏）同 ▲小森倉松氏（農業）同 ▲佐合重勝氏（會社員）同 ▲大森茂氏（同）同 ▲小野慶藏氏（貿易商）三國ホテル ▲山本清氏（官吏）同 ▲織本道三郎氏（建築士）同 ▲岩野一次郎氏（會社員）同 ▲川島俵次郎氏（商業）同 ▲安武政吉氏（會社員）同 ▲千田次郎氏（同）同 ▲寺島由松氏（辯護士）同 ▲中藤照榮氏（林業）同 ▲淺野又三郎氏（會社員）同 ▲萩原照次郎氏（商業）同 ▲安部都夫氏（官吏）蓬萊ホテル ▲高野盛氏（日滿商事）帝都ホテル ▲平田九一氏（官吏）同 ▲野口茂氏（同）同 ▲山下泰三氏（會社員）同 ▲田岡正明氏（滿鐵社員）同 ▲森川英周氏（紙商）同 ▲廣瀨顯司氏（木材商）同 ▲奧保城氏（畜産局）同 ▲宗義太氏（滿洲國官吏）同

出發

▲富家昌三氏 十二日四平街へ ▲横山重紀氏 吉林へ ▲森川義金氏 大連へ ▲山下佐內氏 奉天へ ▲伊藤庄七氏 哈市へ ▲高杉藤次郎氏 奉天へ ▲奧村鹿太郎氏 同 ▲釜瀨富太氏 奉天へ ▲秋城武平氏 同 ▲金庭秀松氏 敦化へ ▲中澤治石氏 奉天へ ▲堀江元一氏 同 ▲西本敏一氏 鞍山へ ▲鈴木昌平氏 奉天へ ▲木原莊氏 大連へ ▲中村三郎氏 同 ▲中村秀男氏 延吉へ ▲藤村政鴨氏 吉林へ ▲古內秀和氏 奉天へ ▲濱口嘉太氏 同 ▲川村重郎氏 同 ▲岩間啓太郎氏 吉林へ ▲安食三郎氏 鞍山へ ▲大西定彦氏 大連へ ▲秋田政治氏 同 ▲武田純輔氏 同 ▲和田新太郎氏 哈市へ

その日く

□ 愈よ拓政機構が擴充される東亞協同の實はこゝにこそ輝かしく示される

□ 大陸への關心は日本においても昂ひ、聖戰がもたらした收穫の一つだ

□ 零下三十度、その酷寒にめげぬ情熱をこの國策事業に注がなくてはならぬ

□ 將に與へた挑戰狀、三十六計も如かずと逃げる彼に武將的意識ありや否や

□ いかに扱ふものが石炭だからといつて、肚黑い連中がゐては困るのである

人の不足から各所で引拔き戰
政府も特殊會社も惱みの種
待遇一元化叫ばる

日本の軍需工業の躍進と滿洲國五ヶ年計畫の遂行は物と人との拂底を生じ、殊に人的要素の缺如は物資總動員の如くおいそれと整備計畫が立たず日本側厚生省の新卒業生の統制に止まり、滿洲側は日本側との好意的援助を受けてゐる狀態であるが、新興滿洲國の「人の不足」は單に技術員ののみでなく、官吏と會社員、タイピストの引拔きが漸次猛烈となり、遂に根本的問題たる待遇統制論強調されるに至つた、官廳、會社人事係が對策に腐心してゐる現象は次の通りで、單なる悲喜劇として放置出來ぬものがある

その一 政府の科長事務官、屬官級は次から次に特殊會社が出來るので待遇の良い特殊會社入りを希望し、文官令の影響も相當深刻なものがある、この傾向は單に日系のみでなく滿系警察官を始め郵政從業員にも顯著となりこれが喰ひ止めに大童の態

その二 はタイピスト及び女事務員、給仕で、政府關係の勤務者が待遇の良い特殊會社に引つ張られて「こんど廿圓もお給料の多い〇〇會社に勤めることになりましたので辭めさせて戴きます」の挨拶に他の振合もあるので引止め得るだけの給料が支拂へず困つてゐる有樣

その三 は同じ特殊會社と云つてもピンからキリまであつて、重役の待遇が年一萬四千圓、一萬二千圓、一萬圓とあると同樣に初任級が千差萬別、從つて待遇の悪い會社から良い會社へ轉ずるもの或は初任給の安いところは最初から入社希望者がなく、會社の名前が賣れてゐるところと賣れてゐない會社は雲泥の差がある有樣この傾向は明年に入つて益々激しくなり待遇一元化が漸次叫ばれるであらう

家庭生活の合理化 友の會講習會
廊下に溢れる熱心さ

家庭生活の合理化と能率增進を目指し友の會新京支部では十三日午前十時より協和會第一會議室で家事家計講習會を開催したが會員多數つめかけ會場にあふれ出て廊下に立ちながら講習を受ける盛況、定刻開會の辭につぎ、國歌君ヶ代を合唱、泙島高子さんが講師となり、非常時下に於ける私共の家事家計、豫算の立て方、家計簿のつけ方、豫定生活について、主婦日記に依る一年間の統計、計畫的な生活設計の實例、一汁一菜料理の基礎日科について、冬季滿洲の子供の健康について、お洋服の合理的な持ち方着方、友愛セールについて等の講習あり、最後に質疑應答及相談あつて午後三時過ぎ終了した【寫眞は友の會の家事家計講習會】

缺席學童の健康調査
滿人の衛生普及に乘出す

滿人衛生思想の普及向上を目指して邁進してゐる市公署衛生處では都下滿人學童の赤痢チブス、猩紅熱等の傳染病を早期に發見し傳染病豫防の目的を達成するため最近一週間毎に疾病缺席學童の調査を開始してゐるが、報告成績が悪いので來年よりは五日以上欠勤する場合は義務的に報告せしめ直ちに醫師を派遣して、學童傳染病の徹底を期することゝなつた、尚近く都下全部の漢法醫を集めて傳染病に對する診斷指導を開始することとなつてゐる

都邑計畫法 愈よ施行

十二日國務院會議で「國都建設計畫法改正に關する件」が通過したがこれによつて愈よ都邑計畫法が新京に施行せられることゝなつた、隨つて目下首都警察廳が斯界の權威者を網羅する建築學會新京支部に諮問し萬全を期してゐた〃都邑計畫建築細則〃も大體審議を終了し基本法規施行に伴ひこれが細則も近く公布を見る運びとなつた、尚都邑計畫法施行に伴ひ注目すべきは同法施行規則十六條に舊滿鐵附屬地について敷地に對する建築面積の割合が規定されてゐる、即ちその割合は從來の舊附屬地に施行されたものより減になつてゐるが舊附屬地に於ける權利を尊重する意志から當局では直ちに適用を差し控へ「康德五年四月三十日までに賣約亦は借受けた土地にして康德六年六月三十日までに建築の許可を得たものについては從來の規定によつて行ふ」と期間を與へて緩和を圖ることゝなつた

十六條の所謂空地制限規定は住宅地域では建築面積が敷地面積の四割、商業地域では七割、その他の地域では六割となつてをりこれに對する滿鐵社則は住宅地域では六割、商業地域では八割とその他の地域では七割でいづれも新法規は二割乃至一割の減少である

東光書苑を組合から除名
書籍類定價賣り問題再燃

東光書苑が內地同樣書籍の定價販賣を叫んで半歳讀者注視のうちに東光書苑は定價販賣を實施し定價販賣では營業不可能と反駁した全滿書籍業者と相對し着々業務を擴張し成り行きはすこぶる關心を持たれてゐたが、最近に到り書籍組合員のうちに結束を破つて內地定價販賣またやむを得ずとの意見を抱くものあるに至り組合側では內部よりの崩壞を憂慮し突如東光書苑を除名處分にしたことに烽火は再度燃え上り形勢惡化し東光書苑はあくまで內地定價販賣を提げて組合に迫まることゝなり目下各關係方面と協議中で近く再度內地定價販賣戰の火蓋を切るものとみられてゐる

トラックの滑り過ぎ

十二日午後八時頃大經路、三道街交叉點を南關方面へ向けて疾走中の大經路六八王振鐸（二九）運轉快利公司トラックが前方に停止してゐる東三馬路門牌三號李鳳閣（四四）の御する馬車を見て慌てゝブレーキをかけたが道路の滑る爲に利かず、ハンドルを右に切つた爲に右側の知田義助氏宅へ破突入、同氏宅門口土台等を壞、トラックはラヂエータを大破したが人畜には被害が無かつた

あすは義士討入り日
各學校記念の催し
◇……時局下殊の外意義深く

憶ひ起す元祿十五年十二月十四日、赤穗義士が恨み重なる吉良上野の邸に討入り目出度く本懷を遂げた日、時局下にこの記念日を迎へて又一入と意義深く市內各小學校でも校長先生から講話がある外種々の催しに故人の德を偲ぶと共に兒童の士氣を鼓舞して一日を有意義に過す

◇室町校 義士に因む繪畫、書類を兒童の各家庭から持寄つて展覽會を開くと共に四年以上は講堂で兒童のお話の會を開く
◇西廣場校 低學年、高學年に別れてスケート會を行ふ
◇白菊校 高等科生徒が白銀の校庭で義士討入りの實際を演じて兒童一同が參觀する
◇八島校 午後より四年以上が男子は劍道試合、女子がこの學校御自慢の薙刀の型を講堂で行ふ
◇櫻木校 午後より四年生以上劍道大會を行ひ五年男子のみは晩まで殘り夕食後お話の會を開く
◇三笠校 全校兒童朝から鐵道北方面で兎狩を行ふ
◇順天校 午前中スケート會を開き午後より全校兒童が交通部裏側より孟家屯方面へ向けて兎狩を行ふ

凍りつく鐵路を枕に悲戀抱合情死
ハルビンの獨身青年と人妻

十二日午後十一時頃京濱線新京驛を距ること一粁九四の地點に鐵路を血に染めて男女の轢死體がある旨鐵道警護隊に急報されたので同隊より田中巡監、武智巡長が現地に向ひ檢證の結果傍にあるハンドバック內にある四通の遺書に依り合意の情死なること判明した、男は哈爾濱景陽街某會社勤務山崎平作（二四）で女は小澤初子（二一）と姓名のみ判明、遺書は男女共各二通で文面に依ると女は人妻らしい節があり兩人は許されぬ仲であつたが最後まで潔白であつたことを喜んで死んで行きますとあり、或は獨身青年と人妻との悲戀の結果に依る合意情死で無いかと見られてゐるが、目下哈爾濱へ詳細照會中である

セメントと砂利を喰つた四人組
足がついて巧みに捕はる

セメント及砂利を喰つた四人組逮捕＝去月末頃市內に砂利を賣り歩く半島人あるを聞き込んだ首都警察廳捜査股では臭いとにらんで調査中のところ市內老松町土建請負業阿川組の工事場に働いた半島人玄永澤（二七）と判明、同人を追跡去る一日下九台に逃走中を逮捕嚴重取調べの結果、本年九月市內萬壽街道路舖裝工事をセメント、砂利は國都建設局持で阿川組が落札した、この工事の下請人井上彌一郎及同人使用人現場監督炭釜傳作及苦力監督玄永澤（二七）同吳時泳（二三）の一味四名が共謀で建設局の目を盗み官給品セメント百袋（時價二百圓）砂利三十坪（時價六百圓）計八百圓を詐取し、不正砂利は四百八十圓で新京高岡組に賣却した旨自白した、同廳では直ちに一味を追跡吳は玄に續いて本月上旬、井上と炭釜は張家口阿川組出張所に潜伏中を電報手配によつて十二日逮捕した、セメントの賣先は目下調査中であるが、餘罪多數と見られ嚴重取調べ中である

比島全島 猛颱風に襲はる

【マニラ十一日發國通】先週比島全島に猛烈な颱風の襲來があり、各地に相當の死傷者を生じてゐるが、十一日現在の死者は總計百四十八名に達した、就中アルベイ地方の被害は悽慘を極め昨年末メーヨン火山噴火の際噴出し火山中腹に推積してゐた岩石及び火山灰は今回の颱風で山海嘯を起し火山山麓のカマグ全市街を完全に埋沒してしまつたといはれる

滿洲託兒所 業績頓に揚る
◇……小林所長挨拶に來京

大連老虎灘に滿洲託兒所を設立以來十餘年同所の經營、世の溫かさを知らぬ薄幸な幼き子供に溫き慈愛を惠み一意福祉增進に邁進して來た社會事業家小林太郎氏 本春かつて同氏が使用してゐた一滿人が托兒所の書類を盗出し氏の名前をかたつて吉林で詐欺を働らきために誤やまられて一時氏は疑惑の目を向けられ大迷惑したが日ならず、その滿人は逮捕され事件の全貌が判明小林氏は何等關知しない唯名前をかたられたに過ぎないものであることが明らかにされた、然しこれが原因して事業に尠からぬ障害を來たし惱まされて來たが

同託兒所の業績を見ると創立以來の收容實人員は職業人にて一定の家なき者、五十八名、家庭の便宜上預けし者四十九名、夫婦共稼の者六十五名、父母病氣入院のため三十九名、養育不能のため他家に貰れたき者三十八名、生活困難のため百七名、母なき者四十二名、父なき者六十二名、父母行先不明者七名、合計四百六十七名、合計延人員五萬二千二百六十六名の多數に及び氏は終生をぶち込み不幸な子供への父となり慈母となるとの決意に燃えて年末に當り各方面への挨拶に來京した

鯛增開店披露

ダイヤ街割烹でつち生洲は室內大改造中であつたが今般竣成室內の裝飾も見事に出來上り割烹鯛增と改稱して開店したが十二日は開店披露として關係各方面を招待して設宴した

あす（十四日）

△大新京三等組合防空機獻納式於國防會館午後二時
△中華民國臨時政府成立一年記念張國務總理放送
△義士四十七人記念日
△彩票發表

今晩の主なる放送

▲七、三〇國民歌謠「國こ[illegible]」（東京）▲八、〇〇義太夫攝州合邦辻（哈爾濱）[illegible]素州外▲八、四〇獨唱とチロ獨奏（新京）藤井千エ子▲九、一〇連續講談（東京）能瀨貞山

藤原航空局長官 久々で國都入り
◇……日本の航空事業を語る

日本民間航空の總司令として航空日本建設に大童の活躍をつづけつゝある、航空局長官藤原保明氏は日本と最も密接なる關係にある滿支航空事業視察のため大久保國際課長らを帶同十三日午前十一時四十二分着ひかりで滿洲國平井交通部次長を始め多數關係者の出迎へをうけて着京直ちに日滿軍人會館に入つた、滯京二日、哈爾濱、大連を視察後奉天、天津、北京、南京、青島等北支の航空事業を視察して歸國の豫定であるが、車中往訪の記者に對し日本航空建設に就き左の如く語つた（寫眞は驛着の藤原長官）

△……訪日獨逸コンドル機の不時着、內台定期航空富士號の遭難は洵にお氣の毒に堪へない、コンドルの性能は優秀であるといふことは聞いてゐたがハノイ出發後時速四百五キロといふ高速度を以つて未知の日本の空を夜間航空で堂々立川に安着したことは機能もさることながらさすがヘンケ機長以下獨逸のベストメンバーだけのことはあると驚嘆した次第だ、斯くの如き機材と有能の人的要素をもつてしてなほ不時着を止むなくしたことは今後の空界に大きな研究材料を與へることゝなろう現に富士號の遭難の際凄島操縦士以下乘務員のとつた處置はマニラ海岸に不時着したコンドル機ヘンケ機長以下の處置が大いに參考となり終始沈着冷靜萬全の策を講じ從容として職に殉じたその精神は我が航空史上永劫に忘れることは出來ない、たゞこの一時をもつて漸く發達の途にある民間航空に對する一般の影響を非常に杞憂したのであるが、今回自分が京城まで乘つて來た飛行機も對支各線も超滿員の狀態を見てほつと安心した

△……航空事故の原因については種々あるであらうが日本のそれは機材と人的要素の不足が最大原因と思はれる、從つてわれわれとしては此の點に最も力を入れ全國に十ヶ所航空學校を新設し一校五十名全部で五百名の航空關係者を養成することゝなり、既に實行に移してゐるので數年後には大體の人的要素は整備されるものと確信してゐる、その他滿洲國に先じられたが航空氣象の觀測、航空無電、ラヂオビーコン、飛行場の擴充等地上保安施設にも萬全を期すべくこれも明年度より實施することになつた、今次では基礎的事業が先決問題であつたが、それも全部解決したので、これからは各般に亘つてどし〱やつて行く積りだ豫算も明後年までには少くとも五千萬圓に膨脹するだらう、まあ見てゐて貰ひたい

△……國際航空路線については未だ一寸發表を憚るが明年秋までには實施の運びとなる豫定だ、この路線には過般日本を訪れた獨逸のコンドル機以上の高性能少くとも時速四百五十キロを出す優秀なるコンドル機を配することに決定準備も整つてゐる、南洋航空路は四月から開設することゝなり、これには四發動機附三十人乘大型水上機を用ふ筈である日滿急行便は日滿兩國の政治經濟兩面から見て直航一日二往復大阪直航一往復を明年度豫算に計上したが他の方に讓らねばならぬ事情があり一年延期したことはまことに殘念だ、そのかはり現在の西廻り福岡經由新京線には二十四人乘ダグラスDC三型を一本増すことに決定した、北支との關係は日支事變後の實情に即して先づ第一に東京、北京、南京を結ぶことの緊要に鑑み東京、北京、青島を結ぶ航空路を開設した、これには相當骨を折つたが自分がこしらへた事であるから是非乘つて見たいと思つてゐる

△……日滿間の航空は政治經濟上から見て不可分關係にあるので今後大いに擴充せねばならぬことを痛感してゐる、このことに關し日滿航空條約の如きものが是非必要なことゝ思ふ、滿航のものだから日本乘入れに就いては何いけないといふことではないと思ふ、お互に融け合はないところがあるのではないか、此際双方大乘的精神をもつて日滿航空擴充をはかることが最大急務であらう

下關直輸入の
ふぐ料理を
御賞味下さい
御來店の節は豫め御電話頂き
ましたらなほ結構と存じます
味覺隨一
鯛す
食道樂 青柳

浪漫と傳奇をのせて眼も綾なる絢爛の大卷繪物!!
月の下の若武者
長谷川一夫主演
月光冴え渡り、黒髪凛然として若武者の頰をなぶる、轟々闇にこだまして駿馬西に飛ぶ！織田信長いまだ天下に覇を稱へざる頃平家の後裔濃尾山中三輪荘に蟠居す!!雄渾なる筆法に綴る大戰國史！
花井蘭子・大川平八郎
竹久千恵子・丸山定夫
共演
同時上映
青春娘の勢揃ひ
潑溂たるこの若さ！
軍港の乙女達
霧立・若原・神田・戸川・椿・提
主演
十六日より堂々封切
帝都キネマ

日活は映画
邦画界未曾有の國寶的巨大篇！日活東西總動員大顔合映画！
忠臣藏
天の卷
地の卷
義士討入
十二月十四日
より四日間
三十五錢
朝日座
妻三郎・千恵藏・寛壽郎・・・・山本嘉一・・小杉勇・江川宇禮雄・杉狂兒・轟・星・花柳・黒田・大倉・・・・月形・尾上・澤村・澤田・河部・・・・豪華配役

古今映畫の最高峰
全日本映畫界を風靡せし名篇何度見ても面白い絶對失望のない興味篇
よ見！好評の名畫
原作 三上於菟吉
脚色 伊藤大輔
監督 衣笠貞之助
中村雪之丞 闇太郎 母親 林長二郎 一人三役
伏見直江
嵐德三郎
藤野秀夫
高堂國典
千早晶子
志賀靖
高松錦之助
山路義人
4日封切
階下 30錢
長春座

廣告
水道工事修繕補修の御用命は
電話③五九五五番 六五四八番へ
新京市公署指定專屬
大信洋行水道部
和洋家具各種
鞄並皮革類
自家製品大安賣
修理は技術優秀迅速叮嚀の弊店へ御用命下さい
二合永 鞄並家具店
新京東一條通三六
電話3四三〇八番
優秀推奬
大石の玄米茶！
香味一〇〇%
祝町太子堂前
電話三ー六四二七番
割烹陶磁器
金龍洋行
陶器と漆器
御贈答用選品揃
日田の漆器
京都 清水燒
有田 香蘭燒
新京豊樂路六〇二
電話②三二八一番

愛國公債附
十二月一日ヨリ
歳末大賣出し
お正月の新柄衣裳の品揃ひ……
防寒のコート地の新柄豊富……
共通商品券の御利用を……
大連浪速町
伊藤呉服店

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價　一部五錢　一ケ月壹圓五錢
廣告料金　普通一行壹圓五拾錢（税）　特別一行貳圓五拾錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社
電話　編輯局專用（3）三二〇五　營業局專用（3）三二〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

陸軍機、巨翼を張つて赤軍據點を覆滅

延安、延川、五原　我空襲下に震撼

【北京十三日發國通】陸の荒鷲山瀬部隊の〇〇機は十三日午前大擧して陝西省共產軍根據地の猛爆を敢行した、一部は寒風を切つて再度赤の都延安を急襲、市街に大型爆彈の雨を降らせ共產大學その他赤色重要建物を破壞すると共に他の一部は延川を爆擊して山西へ侵入の軍事的要地を覆滅、多大の效果を收め遺憾なくその威力を發揮する一方悠々宣傳ビラを撒布して全機無事〇〇基地に歸還した、又芝田部隊は十二日正午再び五原に飛び兵營その他軍事施設を爆擊すると共に集結中の敵多數を潰走せしめた

敗戰の責任糊塗に　廣東軍將領を處罰

【廣東十三日發國通】南支防衞軍は廣東、漢口を失つて以來戰費極度に窮乏し民心の動搖激しく收拾し得ざる狀態に陷つてゐるが、この實情に狼狽した西南首腦部は窮餘の一策として敗戰責任糊塗のため一部將領の處罰と共に經費節約、人心收攬を目標に次の諸項目を擧げて抗戰支那再建の畫策に必死となつてゐる

一、廣東軍將校一部の處罰、廣東軍の將領第百五十四師長梁世驥及び第百五十一師長莫希德を免職し第百五十六師長李江及び郭顧問等を逮捕した

二、廣東、廣西兩政府の改組、廣東、廣西兩政府を改組して廣東には陳濟棠、廣西には陳樞等をそれぞれ首腦者として新方針による政治工作を行はしめる

三、第四路軍政治部組織の改造

四、自衞團の兵力削減による經費の節約、自衞團の經費は廣東省のみでも月に百數十萬元を要し到底長期持久に堪へぬので各區ごとに兵力を全廢或は半減しその經費は從來の三分ノ一に削減す

五、黨部の積極的宣傳工作

討蔣反共を決議　臨汾附近の八縣長

【北京十三日發國通】南部山西の中心都市臨汾附近八縣の縣長及び治安維持會長等は去る八日臨汾に會合、協議の結果討蔣反共の實をあぐるとゝもに中央政府樹立を要望する左の決議をなし、新政權下にあつて明朗山西建設に邁進することゝなつた

△決議

一、各縣は新政府指導のもとに一致協力同心し討蔣反共を援助す

一、各縣は新中國の急速なる建設のため正式に中央政府成立の進行を要求す

四手井侍從武官上海出發　聖旨傳達を終へ

【上海十三日發國通】皇軍各部隊將兵に對し聖旨傳達ならびに江北、江南兩戰線を巡視中であつた四手井侍從武官は十日午後三時十八分上海驛着列車にて來滬、直ちに上海警備司令部に赴き警備狀況を聽取の後聖旨傳達式を行ひ宿舍に歸還、十一日午前九時より渡邊兵站司令部及び黑田部隊を巡視、軍報道部馬淵中佐の案內にて飯田棧橋、吳淞、楊行鎭及び大場鎭附近の皇軍激戰の跡を具さに視察、十二日は午前八時四十分より特務機關において軍務報告を聽取の後蘇州河附近戰跡を視察、同十一時松田部隊に赴き聖旨を傳達、狀況報告を聽取の後附近を巡視、午後一時江南ドックの碼頭から乘船黃浦江上より浦東及び租界附近を視察し志賀部隊及び澁谷部隊にて狀況を聽取し上海附近における日程を滯りなく濟ませ十三日出帆の〇〇丸で離滬した

山西、河北省の討匪掃蕩戰

各地に殲滅戰展開

【石家莊十三日發國通】山西河北その後の討匪掃蕩戰左の通り

一、森本部隊山根部隊は十一日清化鎭（獨山東南方）一帶にある敵約二百を急襲これを包圍擊滅した、遺棄死體廿、捕虜七

一、岸切部隊の一部は解縣東北方東西曲范」に遊擊隊の潛伏せるを探知十一日未明下士斥候をもつて包圍攻擊の結果わが方少數の兵力なるにも拘らずこれを擊潰、第一遊擊隊長釁幽村以下七名を捕縛した

一、横嶺關附近にある米岡部隊の一部は十二日午前同地東南方重要據點奪回を企圖してひそかに前進し來つた數百の敵あるを探知しこれに反擊を加へたが敵は迫擊砲、重機を擁して頑强に抵抗、交戰二時間半の後これを東南方に潰走せしめた、敵の遺棄死體九十三、鹵獲品多數

一、那須部隊の一部は十日拂曉汲縣東南方地區に蠢動する介景福軍約百を擊破した遺棄死體十二

棉花統制法及び同施行規則改正

政府は棉花統制法の一部を改正し十四日これが公布をなすことゝなつたが同法改正に伴ひ棉花統制法施行規則も一部改正を加へ同日付產業部令をもつて公示することゝなつた

寒氣と生活不安　重慶民衆の窮迫深刻

【香港十三日發國通】共產黨系漢字紙立報は十三日の紙上に重慶の現狀に關する一讀者の投書を揭げ國民黨政府治下における民衆の痛苦につき次の如く報じてゐる

過去における重慶の人口は約三十五、六萬であつたが國民政府が重慶に移轉してから中樞機關の移駐とゝもに戰區の住民も續々集り最近では既に七十萬を突破してゐる、重慶における下層民衆の從來の生活は極めて簡單であつたが最近は一ケ月約五、六元程度となり、失業者の續出とゝもに民衆の苦しみは深刻なものがあり殊に中產階級の窮迫振りは物價の昂騰と收入の不安定のため想像以上である、寒氣は日一日と嚴しさを增しつゝあるが外套に用ひる羅紗地等は昨年の三倍に騰貴し中流以下民衆の被服材料たる木綿の如きも從來一元二十仙前後のものが四元以上となつてゐる、食料は本年四川省が豐作であつたので米は安いが燃料は四倍となり、野菜も著しく不足を告げてゐる、料理店で食事をすれば從來二元以下のものが忽ち七、八元かゝり中產以下の民衆の苦みしは日一日と深刻の度を加へつゝあり政府に對する不滿の聲はやうやく高い

北支交通會社設立問題　暗礁に乘上ぐ

時期の見透しつかず

北支交通會社設立問題に關しては既に根本方針を決定、目下同會社設立に關する具體的問題につき中央關係當局間に種々折衝が進められてゐるが人事の配置或は港灣問題その他二、三の點について關係者の意見一致を見ずこれがため會社設立時期の見透しで困難なる狀態となつたので同問題に關し現地側を代表して中央要路と折衝中の滿鐵顧問宇佐美寬爾氏は止むなく中途で交涉を打切り來る廿日頃一先づ歸任し來春再び東上することゝなつた、從つて交通會社設立問題は目下のところ全く暗礁に乘上げた形で今後の交涉が順調に進捗したとしても明年四月頃までは實現不可能と見られるに至つた

興亞院人事

【東京國通】興亞院總務長官以下各部長級の人事は十三日の閣議が取止めとなつたため定例閣議に附議する豫定であつたが、開設準備を急ぐ必要上十二日持廻り閣議をもつて柳川中將以下三部長（交涉中の文化部長を除く）の任命を左の如く正式決定し上奏御裁可を仰いで官制公布と同時に發令することゝなつた

任興亞院總務長官　陸軍中將　柳川平助
任興亞院政務部長　陸軍少將　鈴木貞一
任興亞院經濟部長　總領事（上海駐在）　日高信六郞
任興亞院技術部長　內務技師　宮本武之輔

【東京國通】興亞院文化部長については對支文化事業の重要性に鑑み愼重に人選を進めた結果その識見、經歷の點より第一高等學校長醫學博士橋田邦彥氏を起用すべく同氏と交涉中のところ十三日一高校長の後任に適任者を得れば就任する旨の內諾を得るに至つたので文部省とも協議の上後任決定次第閣議に附し正式決定の筈である

堀內新駐米大使シャトル着

【シャトル十二日發國通】新任アメリカ駐劄帝國大使堀內謙介氏は十二日朝入港の郵船平安丸でシャトルに到着、正午日本協會並にシャトル商業會議所共同主催の歡迎午餐會に出席、同夜シャトルを出發ワシントンに向つたが、堀內大使は記者團と會見、次の如く抱負を語つた

アメリカにおける余のたる使命は過去八十年の長きにわたる日米の友好關係を一層促進するにある、日本は夙に日米間及び極東における平和を望んで居り特に日米兩國間の親善提携は太平洋の平和、延いて世界平和のため缺くべからざるものである、また日本は支那の門戶を閉鎖しようとするものではなく列國も支那の經濟的開發に參加せんことを望むものである

外務省辭令

【東京國通】外務省辭令（十二日）

任領事　外務事務官　松浦　晏樹
ポーランド在勤を命ず
領事（ポーランド）　吉田　實
ロスアンゼルス在勤を命ず

人事往來

▲木村常次郎氏（滿鐵）十三日來京ヤマトホテル
▲國友正行氏（中銀）國都ホテル
▲木村力藏氏（織物商）同
▲島田專司氏（天滿織物）同
▲窪津俊一氏（官吏）同
▲田中靜男氏（昭和製鋼所）同
▲淺輪三雄氏（同）滿蒙ホテル
▲加藤虎男氏（滿鐵）同
▲新妻浩氏（會社員）同

漢陽治安維持會成立式（記念撮影）

チ洪兩國關係再び惡化

國境附近で衝突　鎭壓に軍隊出動す

【プラーグ十二日發國通】ハンガリーの領土割讓要求をめぐるハンガリー、チェコ間の紛爭は過般のウヰン會談における新國境劃定で解決を見たと思はれたが、十一日ハンガリー人とチェコ人との間に衝突事件が起り問題は又復再燃の兆が現れた、即ちスロヴアキア自治政府のカルマシン宣傳相は十一日スロヴアキア地方のハンガリー國境に近いウンテルメッツエン・ザイフエンに乘込みドイツ系突擊隊の集會でスロヴアキア政府支持を强調した一場の演說を行ひ、併合反對の示威を行つたが、ハンガリー人側より投石をはじめて大混亂となり、カルマシン宣傳相ほか數名の負傷者を出した、續いて國境を越えて潛入した武裝ハンガリー人が機銃の火蓋を切つてドイツ人に對する射擊を開始しカルマシン宣傳相に向つて發砲されたー彈は一少女に命中して卽死せしめた、急報により現場に驅けつけたスロヴアキア警官隊も鎭壓に手をやく有樣で遂に軍隊が出動し、催淚彈を使用してハンガリー人をハンガリー領內に擊退した

メーメル地方議會の勝利　獨報道連謳歌

【ベルリン十二日發國通】メーメル地方議會選擧はナチス派の絕對優勢裡に終了しドイツ系市民はドイツ合併の氣勢を揚げてゐるが、ドイツ外務省機關外交通信は十二日選擧の結果に對するリトアニア政府の態度こそメーメル問題の今後の歸趨を決定するものであると次の如く論じてゐる

今回の選擧を通じて新たに表現されたメーメル住民の親獨的傾向に對してリトアニア政府が如何なる態度に出るかが今後の情勢の推移を決定することゝならう、過去においてリトアニアが犯した過失は報いないでは濟まされぬことを認識すべきであるメーメル地方の地位に關する保障を履行しなかつたばかりでなくリトアニアの採用した政治制度自身によつて確かに現在メーメルに存在する情勢の招來を早める重要な原因を作つてゐる

更にナチス勞働戰線機關アングリフ紙も十二日の紙上で一度び輝かしき勝利をもつて國際的に認められた正義は遂に認めざるを得ないことは最近における幾多の實例がこれを證明してゐるとドイツ派の勝利を謳歌してゐる

偶語

支那事變勃發して既に一年有餘戰局の進展に伴ふ四圍の狀勢は必ず近き將來に於て更に大なる非常時が我々の頭上に蔽ひかゝつて來るであらうことが想像に難くない▼それに對し一般の心構へはどうかといふにこれはまた驚くべき不用意にあることは一體どうしたことか▼戰は必ず勝たねばならぬ戰に勝つには先づ平常の備が第一だ古語にもある通り備へなければ必ず敗るとは戰の定石なのだ▼大陸開發のパイオニヤとして三十年の輝やく歷史を有する滿鐵では來るべき非常時に備へ會社に總裁室直轄の防衞班を新設した▼卽ち一朝有事の際第一線の戰鬪員を繰らずして埠頭、炭礦、鐵道等會社自體が自衞するだけの備へを平常固めて置かうといふのが眼目である▼滿洲には滿鐵に劣らぬ國家事業を經營する所謂國策會社が無數にある筈だ▼それら會社が各自平常から防衞を講じることは單に會社の自衞のみならず延いては國家防衞の重大なる役割を演じることになるのではなからうか

社說　拓政機構の擴充

滿洲國に於ける拓務行政機關が愈よ擴充されることとなつたのは喜ぶべきことである。すなはち來年一月より產業部外局として開拓總局を新設するとゝもに龍江、濱江、三江吉林、牡丹江の五省には開拓廳を設けることとなつたのである。これによつて移民事業は從來のそれを一段と擴大した機構により本格的にまた效果的に押し進められるわけであつて、この重要な國策事業の前途は大いに期待されることとなつたのである。

この移民國策機關の擴充に關して一昨十二日星野總務長官の談話が發表されたが、それには滿洲に於ける移民事業は日滿一體の見地より東亞協同體具現のため日本の移民國策の一環としてその道義的新大陸政策の據點の培養及び確立を主眼とし日本人移民をして滿洲國に於ける民族協和並びに產業開發の中核分子たらしむるとゝもに併せて日本に於ける農村問題及び人口問題の解決に資せんとするものであることが說かれたのである。而してこのために滿洲國はあらゆる困難を克服して既定移民計畫を强行することゝし更に明後年度以降に於いては明年中に日滿兩國に於いて移民國策につき根本的再檢討を加へこれを決定確立せんとしてゐる。そして開拓總局は移民用地の開發計畫の樹立、實施及び原住民の處理並びに本利土地の取得管理及び改良第の事項を綜合的關聯に於いて圓滑且つ合理的に遂行せしめんとするものである。

滿洲國に於いてかゝる機構の整備が行はれるに際して、わわれ日本に於いても移民に關する行政及び關係機構の强化充實されることを望まなければならない。いかに滿洲國のみが力を入れても移民を送り出すところの日本の方でこれに應ずる努力がなければ效果はあがる筈がないのである。日本に於いて滿洲への移民事業についての關心が昂まつて來たのは漸く最近のことであるやうに思はれる。それはわれらとして喜ぶべきことであるが、仔細に檢討すれば日本人一般の滿洲移民についての理解の程度は未だ仲々充分でないやうである。よろしく當該關係機關等に於いては滿洲移民の實態、その大目的、これに對する滿洲國の施設等について更に理解を徹底せしむるために努むべきであらう。かかる理解があつてはじめてこの國策事業に對する擧國的な應援協力がなされ得るであらう。

國策移民の先行者としてこれまで營々苦心し來つた人々に對してはわれらは深い感謝の念を持たざるを得ない。彼等の勞苦の賜物として今日の成果があがりその將來に確たる見透しが持てるやうになつたのである。更に後至者を移し入れこれを支持することがわれらの責務なのである。

ソ聯の宣傳映畫を蔣政府が締出し
ソ聯の對蔣援助失敗の例証

【上海十三日發國通】最近ソ聯の宣傳映畫がソ聯のアジア向け配給會社から支那內地に配給されてゐるが蔣政府部內にはソ聯の影響を現在以上增加せしむることは共產一派の乘ずるところとなり、支那の安泰を脅かすものであるとしてソ聯勢力の侵入を制限すべしとの機運擡頭しそのアヂ・フイルムの輸込を制限することとなつた、國府內のこの新機運はソ聯の對蔣援助の失敗を物語る一例證として注目に價する

蔣介石重慶で
軍將領と重大會議

【香港十三日發國通】確報によれば去る八日前線より飛行機で重慶に到着した蔣介石は長群、王寵惠より最近の四川省軍狀および國際情勢について詳細聽取した後十、十一の兩日にわたり汪精衞、孫科、于右任、孔祥熙、陳果夫等と個別的に會見、時局問題につき意見の交換を行つた、又廣西、貴州兩省駐屯軍及び壯丁の檢閱を終へた馮玉祥は九日西南交通視察の途にあつた張公權は十一日、夫々貴陽から重慶に歸還しこれ又蔣と會見の筈であるが蔣介石と政府首腦部の會談內容は參加者の顏觸れから見て極めて廣汎に及ぶ時局對策について協議決定するものと言はれる、なほ既に內紛を釀せる國共合作問題に關しては黨としての態度決定を保留しつゝ豫め意見を交換中であると云はれる

び新抗戰段階に對する對內外諸政策の全般にわたるものと解される、支那側情報によれば主要協議事項は

一、對英米佛ソ外交政策
二、財政問題就中米支借款及び敍昆、滇緬兩鐵道敷設に關する對英佛白三國借款交涉促進策
三、抗日の攻防根據地たる四部諸省の經濟、交通開發
四、雲南、貴州、四川三省就中四川の軍政改革問題
五、國共新合作問題

などを含み本會談はある意味においてさきに延期となつた五中全會に代り重大轉換期に

近衞首相快癒

【東京國通】風邪のため大阪行きを中止して引籠り中だつた近衞首相は十三日殆んど平常に復したが、尚一兩日靜養の上金曜日の定例閣議には出席する筈である

中南支陸軍へ　小包取扱開始

【東京國通】戰時下のお正月を前にし銃後の家族達が一日も早くと待望してゐた中南支陸軍部隊への軍事小包取扱ひが十日から始められた、南支向けの分は今度がはじめての取扱ひとあつて、受付開始と共に各郵便局の窓口へドッと殺到「正月迄に着きますか」と氣をもむ兄さんや少しでも餘分にと四キロの制限以上に詰込んで斷られるお母さん達が大賑ひ、中央郵便局では軍事小包專門の臨時掛り五十名を入れて整理に大童であるが早やければ上海方面は一週間、南支方面は二週間位で正月に間に合ふやうに兵隊さんの手許へ屆く見込みである

第七回事變國債

【東京國通】支那事變國債の第七回郵便局賣出しは十三日より開始されるが、今回は年末賞與の支給時期に當るので配付額も前回より三千萬圓增加して八千萬圓の證券を全國の郵便局に配付したところ郵便局のなかには既に豫約申込額が配付額を超したところも相當あつて十二日までに追加配付した金額は約五百萬圓に達した

第三回儲蓄債券　三日で賣切れ

富家强國運動の側面援助と中小商工業資金の擴充動員を目的として十日から發行された滿洲興銀第三回有獎儲蓄債券總額百萬圓（額面二百萬圓）は前景氣も素晴しく十二日には殆んど消化濟みとなり、殊に滿人大衆層の消化力熾烈といふ近來にないヒットで大官連の大口申込など共に八萬枚（四十萬圓）を官廳割當ボーナスとした殘り十二萬枚（六十萬圓）を市中に賣出したところ十二日には悉皆賣り盡して仕舞つたといふ好成績を示した

全滿鐵道の總延長　一萬キロを突破
＝本年度滿鐵の足跡を顧みて＝

今次事變勃發を契機として大陸における交通事業を擔當する滿鐵の使命は一段と重要性を增してゐるが滿鐵においてはこの新情勢に對處し、機構人員の整備は勿論交通關係諸則の改正乃至制定、運賃機構の改正統一など業務上の一大刷新を斷行、もつて重大使命遂行に萬遺憾なきを期してゐる、一方この苦心と努力は滿鐵自體の飛躍的發展に一層の拍車をかけ從來單に國內における產業開發、文化向上にのみ專念し來つた滿鐵は事變を一轉機として獨り滿洲國內のみに止らず鮮滿支を結ぶ所謂大陸交通事業遂行の實質的母體として堂々の陣容を確立するに至つたのである、昭和十三年に別れを告げるに當り過去一ケ年間における滿鐵の偉大なる足跡を辿つて見やう

△鐵道

先づ鐵道新線建設の進捗狀況を見るに一月以降營業を開始したものは

梅輯線通化＝鐵廠間、同鐵廠＝老嶺間、錦古線承德＝古北口間、興雪線汪淸＝雪嶺間、溪戈線明山＝牛心臺間、綏南線綏化＝鐵山包間、龍豐線龍潭山＝大豐滿間

の合計三百八十八キロ餘で右のほか私鐵を買收新たに國有鐵道として營業を開始せるものに梨樹線下城子、梨樹鎭間（五十八キロ）があり滿洲事變當時僅か三千餘キロだつた全滿鐵道は今や總延長一萬キロを突破するに至つた

△自動車

自動車路線について見るに本年四月以降新に營業を開始せるものは四千九百五十九キロ八十二區間となつてをり總計において一萬二千キロと前年十一月末日現在の六千キロに比し實に二倍と云ふ驚異的躍進振りを見せてゐる

△營業諸規程の整備

運輸關係規則の制定乃至改正について見るに滿支間交通の發展に對處して

一、滿支間旅客及び手小荷物聯絡運送規則
一、同貨物聯絡運送規則
一、日滿支間貨車直通暫行協定
一、日滿支間旅客手小荷物聯絡運送規則
一、同貨物聯絡運送規則

が制定され日滿支を通ずる交通連絡は一段と整備された、また國內產業開發計畫に積極的協力をなすため年額一千八百萬圓の減收を犧牲として十月一日全滿鐵道貨物運賃の大改正を斷行（石炭運賃のみは五月一日實施）同時にこれに併行して

一、全滿倉庫料金の改正
一、全滿埠頭料金の改正
一、鮮滿間車扱直通運賃の制定
一、內鮮滿小口貨物直通運賃の改正
一、通關取扱手續の改正

等を行ひ運賃、料金關係制度の全面的合理化を圖つた、更に十月一日よりは鮮滿支にまたがる鐵道ダイヤの大改正を行ひ殊に釜山、北京間を卅八時間卅五分をもつて連絡する鮮滿支直通急行列車を新設、大陸交通一貫經營の理想實現に一步を進めた

△職制改正

職制上の問題について見るに所述の如く大陸鐵道經營の實質的母體として一大轉換をなさんとする重大時機に直面した滿鐵では當然職制の根本的大改革の必要に迫られ遂に十月一日を期し鐵道總局を中心とする職制の改正、人事の異動を行ひ同時に松岡總裁以下各重役は大部分奉天常駐を基本とし鐵道總局をして滿鐵本社とし、この形態を備へしめると共に滿鐵北支事務局の陣容を整備し近く新設されるべき北支交通會社への移行體勢を確立した、かくして滿鐵はあらゆる方面に確固たる陣容を整備したが更に諸情勢の變化に對處して二段、三段の刷新整備は當然考へられるべきで目下現地機關の强化を根幹とする第二次職制改正、調査機關の統一强化、或は旅客運賃の改正、北支諸鐵道整備に伴ふ鐵道連絡規則の改正等着々として研究が進められてをり何れも遠からず相次いで實現を見る段取りである

國防皇軍慰恤獻金品（本社取扱）

一金二萬七千四百二十八圓〇四錢五厘（關東軍司令部）
一慰問袋千三百五十個（同）
一金七十圓軍用家畜慰問金（同）
一金三百圓也（國防館基金へ）
一金五千二百五十三圓三十四錢（駐滿海軍部へ）
累計三万二千七百八十五圓三十八錢五厘
……十二月十二日迄の分……

奉天省人事異動

滿洲國人事異動中奉天省關係分左の通り十日付發令された

奉天省警務廳長　前田良次
依願免本官（既報）
安東省警務廳長
任奉天省警務廳長（既報）　谷口明三
奉天省理事官高等教育科長　高尾善一
任總務廳事務官兼編審官
營口市長　尹永禎
任濱江省實業廳長簡任二等
（既報）
遼陽市長　楊晉源
任瀋陽縣長簡任二等
撫順市副市長　郭寶森
任間島省實業廳長
總務廳理事官兼參事官　丁波
任遼陽市長
奉天市行政處長　耿熙旭
任營口市長
財務職員養成所教授　章俊民
任奉天市行政處長
奉天省國民教育科長　金亞鐸
任內務局長官々房庶務科長
瀋陽縣長　李端
任長春縣長
總務廳主計處主計科長　徐瀚九
任撫順副市長
熱河省事務官　劉憲高
任奉天省長官房事務官
新京特別市行政處行政科長　深井俊彥
任奉天省地方科長
奉天省地方科長
任奉天省民生廳高等教育科長　古館純也
內務局事務官　松坂政隆
任瓦房店街長
任安東市公署庶務科長　岡健次
奉天市事務官　村田籍次郎
任遼陽縣副縣長　甲斐政治
任瀋陽縣副縣長
復縣事務官　山路禿大
任依安縣副縣長
奉天警察廳事務官　上田定次郎
任汪淸縣副縣長
奉天省事務官
任吉林省民生廳高等教育科長
龍江省民生廳文教科長　佐藤達男
任梨樹縣副縣長
梨樹縣副縣長　石田茂
任奉天市財務處主計科長
錦州省視學官　笠原喜代佐武
任奉天市事務官　加藤三郎

昭和十三年を顧みて

機構一元化なつた　"青年警察"の出現

（二）　記者　門脇公一

國都治安の完璧へ―治安第一主義は警察本然の使命であつて敢て首都警察廳のみに負はされたものではない、然しこの觀點からして首都を守る首警として特に

重要

なものがある、警衞警備がそれである、人に對する警衞を含むところに首警獨自のものがあり、首都警察廳の生命は警備にあると言はるゝ所以である、ことに滿洲國が世界の檜舞台に堂々登場するに及んでその責任は益々加重されて行くのである、春未だ淺き三月東久邇宮殿下を始め奉り高貴の方々の御來滿、獨、伊公使或は伊國經濟使節の來京さらに在京日滿要人の來往、かへりみてまことに頻繁なものであつた、これを受持つ警務科は周密なる査察警戒によつて能く重任を果した、今日までこれが警衞に何等の事故を見ずその責務を完からしめたことは淚ぐましき彼等の人知れぬ努力の賜であり、反面首警の眞價を遺憾なく發揮した見逃してならない特筆大書すべき業績であらう、警察一元化に伴つて課せられた過渡的建設時の首警を整備し且つ法機後の調整に如何に答んとするか、この課題に對して民衆警察を標傍第一線充實主義を採用した、關口副總監は言ふ

警察官は之を適所に配置しその能力を左右するものであります、而して滿洲國警察の人事行政の實際は著しく中央集權的であり、且人事關係が極めて錯綜して居りますために地方廳に於ては必ずしも人事の適正を得ることは困難な狀態でありますが、尚且凡ゆる障害を排除してその愼重的確を期し殊に第一線充實主義に則り警務外勤係を充實して努めて人材を配置し之を强化し以て警察全體の能率增進に資せんとするものであります

かくして五月機構の一大改革は斷行された、即ち管下各警察署の管轄區域を變更、これに伴ひ派出所を廢合し合理化せしめ優秀なる日系警察官を第一線に配屬警察力の擴充强化を圖り人事の中央集權制を打破した、次いで驚異的躍進の一途を辿る國都の現狀に對應して保安科の一部門にあつた建築工場股を科へ昇格せしめ建築警察をして充實强化し來るべき國都の膨張に備へたさらに國都の消防機構が從來長春大街及祝町各消防署の二署に永安街の一分駐所と所謂二署併立主義にありそがくもすれば指揮系統を異にしてやゝもすれば陣營の不統一を缺くの弊があつたのに對して十一月これを

統一

して長春大街署を新京消防署と改稱、祝町署を分駐所に改變一署長の統率下に置く消防陣の一元化を圖る簇機構改革斷行によつて警察力を全面的に充實强化せしめ標傍する民衆警察の實を具現化し先進國日本の都市警察に比較し敢て遜色なき完璧の陣容を誇る今日の首警を築き上げたのである

攻略一周年記念式典
敵都南京で擧行
細雨煙る中に嚴肅に行さる

【上海十三日發國通】難攻不落を誇つた首都南京を攻略し世界戰史上に燦たる一頁を飾つてから既に一年、その

記念

すべき十二月十三日南京にある將兵並に一般邦人は感激の裡にこの記念日を迎へた、この日居留民側では先づ午前八時半より日本小學校において國防婦人會南京本部の結成式を擧げて日本女性の意義を昂揚し、ついで同十時半より記念祝賀式に移つた、居留民會長の開會の辭について國旗が半頭高くスルスルとのぼる、國旗に注目しつゝ君が代を合唱する參會者の目には白いものが光り劇的なシーンを展開したついで東方遙拜、默禱を捧げて會を閉ぢ各自持參の日の丸辨當を開いて陷落記念日を壽ぎ一同はこの光輝ある日を齎らした戰歿將士に感謝の意を表すべくトラックに分乘して中山門、光華門、中華門と激戰の跡を歷訪、細雨そぼ降る中に戰歿將士の墓に詣でゝ香華を供へ、護國の英靈に心からなる追悼と感謝の意を捧げた、途中光華門では大西中佐より同門一番乘りの脇坂部隊並にその他の部隊の戰鬪狀況を詳細に聽取して一年前の皇軍の奮戰ぶりを目の邊りに偲び一同はそれより軍病院を訪問、傷病將士を懇ろに慰問して意義深き記念事業を行つた一方軍報道部主催の軍樂隊は午前九時半より中山北路を振出しに市內目貫の大道を行進正午中央ロータリーにて

解散

したが南京における軍樂隊行進は初めての事で在留日本人は勿論一般支那民衆も歡呼してこれを迎へ陷落記念日に相應しい情景を呈した、夜は南京放送局で「南京占領の想ひ出を語る」座談會が開かれ馬淵中山兩中佐、高橋、堂脇兩少佐及び稻津同盟寫眞部員の陷落前後における皇軍の奮鬪ぶりの懷古談が放送される

全滿アルカリ地帶の現地調査概況（五）

＝第三班調査報告＝

四、水利施設による開拓 調査地域中集團荒蕪地にして水利施設をなすことにより利用し得るものは哈拉海甸子、龍濱平野、江橋及び鎭東の四地區でこの中哈拉海甸子及び江橋地區は本調査により開拓の方途を見出したるもので、北滿土地の開發上河水も重要なる意義を有するものである 而して右四地區に於て開拓し得べき面積は總面積一、八七五、〇〇〇陌、中畑地一、一二〇、〇〇〇陌、水田二五五、〇〇〇陌の見込である、尚除鹽灌漑に就ては多額の工費を要する貯水地等の築造を避けなるべく河川の自然流下水を引用する方法によることゝなし又全地域に同時に灌漑すること能はざる時は除鹽地域を幾つかに區分し、その一區を水田として收穫を得つゝ順次除鹽し畑地に轉換するのも一方法と見解される

五、作物の種類 大豆、高粱、粟、玉蜀黍は各地共通の作物であつて畑地面積の八〇%以上を占めてゐる、この中大豆、玉蜀黍は比較的低濕な所でも生育良好で高粱、粟は旱魃に抵抗する性質があり、黍は雜草に強いため開墾地の作物として必ず作られてゐる右の基本作物に對して麥類荏、蓖麻等が加つて訥河、富裕、林甸、龍江の一部ではづゝと豐富になつてゐる作物の程度の少い所は一般に砂質に富む乾燥地であつて龍江縣西部、景星縣東部林甸縣南部、泰來縣南部、鎭東縣南部等は大豆、高粱粟の三作物又は之に玉蜀黍と黍が加はつてゐる程度である、次に作物の分布狀態を見れば南北に於ては氣溫に高低あり、東西に於て雨量異るため自ら作物の分布を異にしてゐる、先づ麥類は降水量の多少に關係して甘南縣の沈家窩棚、龍江縣の梁家大崗子、泰來縣、大楡樹を結ぶ線より東部に栽培され、これより西部には小麥作を殆んど見ない、荏作も春季降水の有無に左右され、訥河縣、富海盛、富裕縣、李粉房、林甸縣、犁甸子を結ぶ南北線に最も多く、作付歩合一〇%―二〇%に達し、西に行くに從ひ減じてゐる、高粱は各地共栽培されてゐるが、氣溫の不足な甘南、訥河縣に於ては一割以下である、大豆は耕地滯水又は夏期旱魃を嫌ふため砂土又は低地に於て玉蜀黍に代へられ、玉蜀黍は發芽期の旱魃に弱きため大豆に代へられてゐる地方もある

六、作物の收量 鹽害、旱害、水害等の災害はその程度及び回數共に相當大である爲一般に收量を減じてゐる、然し鹽害の少い地域に於ては大豆陌當九〇〇―一、〇〇〇瓩をあげてゐるが大なる地方では六〇〇―九〇〇瓩に低下し鹽旱害のある林甸、富裕、鎭東の一部では三〇〇―六〇〇瓩に過ぎないものがある高粱は土壤の肥瘠水害の有無に關係し砂土又は砂壤土に於ては六〇〇瓩以下、水害の多き所は六〇〇―九〇〇瓩、鹽害は寧ろ收量多く九〇〇―一、二〇〇瓩程度で土地肥沃にして管理良きものは一、二〇〇―一、五〇〇瓩を擧げてをり、調査地帶を通じ最も安全なる作物となつてゐる

七、牧畜より見たる原野の價値 草原の草生狀態は稍疎にして可牧面積稍多くを要するも、その草種は「ノゲナガハネガヤ」「シバムギモドキ」等を充分使用し得るものであり 家畜の生育につき適當なる方策をもつて助長すれば今後相當發展し得る素地を有するものである

八、衛生狀態 衛生狀態については滿洲の他の地域に比し特に記すべきものもなく、たゞトラホームが比較的多く罹患率は平均三〇%に達してゐる、寄生虫は比較的少くその中最も多い蛔虫でも一〇%餘を見出すに過ぎない 又井水は汚染による飲用不適のもの多く水質は硬度を除く外は略々良好と認められ而も硬度は主として一時硬度であるから煮沸により充分軟化し得るものである

九、農業經營上より見たる特性 農家の定住後まだ日淺く且つ災害が屢々起るため農家の經濟力が未だ蓄積されず耕地面積に比して他の資本が伴はざる觀がある 然し所有面積及び經營面積の配分狀態は南滿に比し概して良好であり、且つ向上性を有するものであるから有畜農業形態を確立して經營の合理化を圖り且つ災害除去の方法を講ずれば將來性あるものと考へられる

以上概說せる所によりアルカリ地帶の改良策としては凡そ次のものたる事を主張したい

一、灌排水施設による除鹽並に水害の除去
二、植林による耕地の保護
三、試驗場設置によるアルカリ地の化學的、種藝的改良
四、畜產の增殖による農家經濟の定固と土地の改善

錦ケ丘高女生 母國修學旅行記

第十信（下） 橋口迪子

私達のなつかしい校舎は闇の中にかくれて見へない。こゝまで來るともう汽車の速度をじれつたく思ふのである。そして今までに感じなかつた激しさで新京に待つてゐる人々に對する思慕が湧上つて來るのであつた。プラットホームに汽車がすべり込むと皆我がちに窓によつて横に流れる定まらない視野の中にも出迎の人々を見つけやうとあせる。ホームに降りて一度整列するその間にも久しぶりで耳にする家の人達やお友達の聲がなつかしく、それはなつかしく耳にひゞいた。型通りの、生徒總代、校長先生、父兄代表引率先生の御挨拶が終るとはね上る心で迎への人々にとりかこまれながら改札口に急ぐ旅の最後の改札口を出てしまふとほつとしながらもかすかな淋しさが疼く樣だ。新京の冷たさにおどろく。寒いと云ふより痛いと思ふ、もう初雪がふつたとのことをきゝ南新京のあたりで唯かゞ雪がある わ、と云つてゐたのを思ひ出した。私達が驛を出てしまつても引率の先生方はのこつてゐらつしやらなければならなかつた。思へば三人の先生方こそどんなに御心配なさつたことだらう。皆一樣に元氣な顏でかへつて來たとは云へ、長い間の旅には具合の惡くなることもあり頭が痛いだの、お腹が痛いだのと云つてはその度に先生方がおくすりや、懷爐や、と樣々に心を砕いて下さつたのであつた、汽車や船に私達が對して苦痛を感じずにすんだのも先生の一生懸命交渉して下さつたおかげであり、私達がねむりこけてゐる間にも先生は起きて明日の計畫を立てゝ下さつてゐたのである。東京等でのずい分大勢の面會の人達との交渉で先生方の御食事は私達がねむる時間になつてしまつた事を覺えてゐる。書いて行けば限りがない程澤山の事がある。

大連に向ふ汽船の中であつた美しく輝やいた月の青い光を浴びながら先生が泣く樣な笑顏で一言、よかつたなあ。と云はれた。

私は胸がつまつて默つたきりであつたけれどあたゝかい大きなものに觸れた氣がしたのである。先生とトランプをしてあそんだ夜のこと、まはりを圍んで親しくお話した夜のこと。すべてたのしい想ひ出である。

驛でやうやく車をひろつて家に向ふときひろびろと氣持のよい路がとても嬉しかつた、新京は電車がなくてよかつたと思ふ。間がぬけて居ても悠然とした新京の姿は、内地ではその片鱗すらもつかむことの出來ないものであつた。

私達の第一の目的は非常時の日本を見て來ることにあつたそしてはつきり云つてしまへばその事に對しては實に失望を感じた。私達は農家の軒にひるがへる日の丸の旗や、出征の場景ばかりでなく、もつと活き活きした非常時の風景にぶつゝかりたかつた、活き活きと云ふのは緊張した潑剌とした空氣の意味である。それなのに内地ではゆるんだ、だらしなくさへある空氣にしか觸れることは出來ずに終つた。下駄ばき等は私の經驗では博多發の汽車の中で中學生がはいてゐたのを見たきりである。私達は觸れたと云つても外側だけであるから内面のことはしらないが兎に角失望を感じた事は事實だから仕方がない。

しかし總括的に見ると一體に本州よりも九州の方が緊張してゐると思ふ。戰地に近いせいもあるのだらうか。

非常時の事以上に私達が失望したのは内地の人の滿洲に對する認識不足であつた。もう今更それらの例をくりかへして書く氣も起らない。内地の一般の人達にとつて滿洲は、おとぎ話でしかないのだらうか。そんな筈はないと思ふ。けれど目の前にその樣な人達を見つゞけて來た私達には、さういつた疑問が湧かなくもないのである。何にしろ、内地の人達はもつと滿洲を理解して下さつてもよいと思ふ。さうでなくて日滿親善なんて云ふ事が出來るものかどうか

私達は純然たる日本人だけれど、決して内地の子ではないだから内地のアラがよく見えるのかもしれない。内地は人情が厚いと云ふことであつたが私には熱くるしい氣がした人情が厚いと云ふ言葉のうちにかくれて、お互がひどく甘えた感情でよりかゝつてゐる樣に見える。そこには最早デリケートな親切さと云ふものはなくやたらに押の太い、そして鈍い自己滿足があるきりであつた。

ずい分矛盾した感想の樣であるかも知れない。でもその矛盾したなら矛盾したまゝ全部が私にとつて眞實である。一口に云へば内地は本當にうるほひの豐かな土地であるけれど私達の膚にぴつたりしない。と云ふことに落着くのであらう。

しかし旅はあくまでもたのしい日々であつた。

新京取引所 十一月中商況

混保大豆、月初當限五、四七五と寄付き二日豆粕、豆油の好調を眺めて油房筋の原料手當買に月中の高値を示現せるも、跡歐洲方面の期待薄に輸出筋傍觀し仕手總見送りの場面を呈す、十日は更に國家總動員法第十一條の發動を見越す株式の慘落に人氣沈滯し加ふるに奧地の氷結により本格的の出廻期接近を氣構へ奧地筋の賣物嵩みて一路落潮を辿り中旬末油房の活況と少量ながらも歐洲方面引合成立の報に驚り商狀を示せしも下旬に入りては再び呆け氣配となりて氣乘らず材料待ちの姿にて相場は小巾往來に推移し月末乘替、手仕舞商内に僅かの活況を見せ十一月限は五、三四〇にて受渡百八十八車を殘して納會し十二月限は五、三四〇と軟調裡に越月せり。

高粱 出來不申

商況欄 十三日後場

●大連株式（短期）

	寄付	大引
五品新	一二、九〇	一二、九〇
東新	一四〇、〇〇	一三九、四〇
滿業	六八、〇〇	六七、九〇
同新	—	—
鐘紡	一三一、三〇	一三〇、七〇
滿鐵	三八、一〇	—
大新	七一、三〇	七一、三〇
豆新	一三、八〇	—
土木	一〇、九〇	—

●奉天株式（短期）

	寄付	大引
滿取	—	—
東新	一三三、九〇	一三九、〇〇
滿業	七一、三〇	—
同新	六八、三〇	—
日窰	—	—
五品	—	—
同鐵	—	—
滿新	三八、一〇	—
鐘紡	—	—
電甲	—	—
電乙	三八、一〇	—
	三六、三〇	—

新京取引市況

先物	寄	引	出來
●大豆 十二月限	五、三四〇	五、三六〇	六六〇車

手形交換高（十三日） 一、三〇七枚 一、三三六七一、六五五

精神劣弱と性格薄弱 親も困る異常兒童

變だと思つたら專門家へ 原因と型・矯正法

子供のしつけはいふべくしてなか〳〵容易な業ではありません、殊にその子供が普通の子供といくらか違つてゐる場合は親の心配苦勞も並大抵ではないでせう、かうした子供に對しては親兄姉は勿論近親をはじめ學校の先生も特に注意して橫道へ入らないやうに導いていたゞきたい、異常兒童―こゝでは普通の兒童より劣つてゐる兒童を中心にしてお話しませう

これには二色あります、主に智恵の發育が遲れてゐるのを精神薄弱兒童、智恵には障害がないが性格が偏つてゐるのを性格薄弱兒童と呼びます、

どうして

かういふ兒童が

出來るかといふといろ〳〵な原因はありますが、第一に遺傳關係、第二は環境や教育法第三は身體の障害（たとへば腦病を患つたとか、頭部を怪我したとか）が主なるものです

性格薄弱兒童は第二の環境乃至は教育法の不適に原因することが大變多い、また精神薄弱兒童（低能兒）のやうに精神に缺陷がある子供は外部の影響を强く受ける上に周圍の眞似をしたがるもので、困つたことには智恵の惡いもの程惡事に染りやすい事で、保護者の特に心をくばつていたゞきたい重要點です

性格異常兒童には種々の型があります、家では威張つてゐるが學校では隅の方で小さくなつてゐるとか家ではおとなしいが學校へ行くと亂暴する始終落着かぬ、非常に神經質である、女の子の中には病的に潔癖な者もある

性的に早熟者も

ある、こんな子供は皆性格異常兒で犯罪者になりやすい傾向があります、うそをいふ、竊盜を働く、はじめは家の中の物を持出す、次に他人の物を盜むやうになる、異常兒童は家庭の注意でよくなる場合が多いが、段々惡くなる子供もある、はじめはそれ程でもないと思つた者が年と共に表面に强く現れて來る場合もあります

ではこのやうな兒童が出來た場合どういふ處置をとつたらよいかまづ專門醫について正確な鑑別診斷を行ふことです、原因（缺陷）の發見については從來の心理學的な立場からでは駄目で生物學的に醫學の立場からも追究しなければいけません

その原因が遺傳とか體の障害にある場合には醫師の手によつて治療しなければいけないでせうし

家庭の狀況とか

家の周圍に原因があればこれに對する處置をとらねばいけないでせう、家庭で甘やかし過ぎてゐたとか、嚴格過ぎたとか、母親が神經質であるとか、いろ〳〵雜多の原因を發見することが出來るでせう、學校の先生などともうまく聯絡をとつて本人が社會生活の適應性を持つやうに仕向けてやる、これを判りやすくいへば團體生活に馴れるやうに差向けてやらねばいけません

そのため大事なことは早く子供の異常性を發見することです、盜癖などは早くなほすやうにしなければいけません、何年もやつてゐるうちには熟練工になつてしまつて容易になほるものではありません

つひに少年院の厄介になるといふ處まで來てしまひます、兒童精神衞生相談所などが最近內地の市に設けられはじめたのも早期治療をするためで

こゝには指導婦

がゐて家庭と學校の聯絡をとつてゐます、要するに『この子供は少し變だ』と思つたら親は大膽に專門家の門を叩いて相談し可愛い我子の將來を誤らせないやうにして頂きたい、原因は一口にいへぬ程複雜な場合がありますから獨斷でせずに早くから注意して立派な成人に仕立上げて下さい

間違ひ易い風邪とヂフテリヤ

早期診斷が大切

これから寒さに向ひまして、いろんな不攝生からとかく風邪を引き易いものです、此の風邪と共に多いのはヂフテリヤですが、風邪とヂフテリヤの症狀の區別がはじめの間は困難です。ヂフテリヤにかゝりますと咽喉の中に義膜（灰白色膜）がついて黴菌の毒素が出來ます。普通の扁桃腺とヂフテリヤの扁桃腺の區別も困難ですが、ヂフテリヤばかりとは限りませんが內部を見ますと白いものがついて居ります。此の白いものがついてゐましたら用心しなければなりません。

大 抵の子供は咽喉を見せることをきらひますので、不斷一寸熱を出したりした時に、母親などが咽喉を見る樣に常に習慣つけて置くことが一番必要です、咽喉を見るときは舌を匙か何かでおさへますと赤くなつて居るか白くなつて居るか分りますこれらを知らずに、唯風邪を引いたのだと間違つて咽喉を冷やしたり吸入などをしたところで何の効果もありません。此のヂフテリヤにかゝりますと特有な咳（犬の吠える樣な）を出します。

こ れは咽喉が義膜の爲め、しめつけられてゐるので、聲は自然とかれ、呼吸も困難となるからです。かう云ふ症狀は素人にも容易に分りますから大體早く診斷かついて醫師に血精注射でもしてもらへば十中の八、九までなほりますが、手當がおくれて喉頭ヂフテリヤにでもなつたら却々恢復は困難になります。第一注意をしますことは咽喉を見る習慣をつけて置いて、少しでも風邪氣味なときは早く咽喉を見る樣にし、白い義膜がついてをりましたら早速醫者に見てもらつて手當をすることです。

こんなに榮養

合理的なすき燒

すきやき鍋は調理法が至つて簡單で、營養から云へば各種の成分がとゝのへられ、味も濃厚で寒い時には申し分がない御馳走ですが、その材料はどこの御家庭でも大てい決つてゐて、大切な榮養價のあるものが往々見捨てられ勝ちなのは遺憾な事です、たとへば鳥、獸、魚の何れをお取りになるも結構ですが、その場合グリコーゲンや其の他燐、カルシウム等を含む肝臟の部分も是に入れたいものです。

次に野菜に就いて云へば、よく喰べ合せが惡いと言つて嫌はれる

ハウレン草 はヴィタミンのＡＢＣの各種を豐富に含み、また一般には捨てられてゐる

葱の靑い 部分は同じくＡを、漬物等で餘分の蕪の葉などは同じくＥを、又蕪の葉

小松菜 や京菜にはＡ及びＣもあり

白菜 キャベツはＣ、特にキャベツの靑いところにはＡがありました

大根 はＢ及びＣを含みますがこれを細かく切つて入れると非常に美味しいもので す、葉はＡとＢに富み

切り干 したなつたものはＣに變化して來て居ます

その他

もやし は豆のついて居る時はＢを、靑い双葉の頃はＡを、昨今の樣に白い根のものはＣを含んで居ます。この外に

ゆば は石灰を

麩 は植物性蛋白質を

味噌 は同じく植物性の蛋白質と血や骨格のための諸無機質を持つて居ます。

以上の各種ヴィタミンは總て生理機能を圓滑にし、自體の抵抗力を强めるものとして必要なのは云ふまでもありません、たゞ注意したいことは特にヴィタミンＡは高熱に破壞され易いので榮養價を百%にするならば、これを含む野菜類は鍋に入れたらサッと煮るつまり煮過ぎぬ樣にせねばなりません。

眼鏡をかけた人と照明度

△……眼鏡をかけた人は特に眼を大切にしなくてはなりません。何故ならば眼の惡い人はどんなに適當した眼鏡をかけても、健康な人の眼とくらべると、同じ速さで物を判別することが出來ないからですつまり視速度がおそいのです

△……ですから眼鏡をかけた人は是非共物をみる時には柔かい光、普通の人よりもずつと明るい光で物をみて下さい子供さんで眼鏡をかけてゐる人がありましたら、机の上は三〇〇ルクス位の明るさに保つておき度いものです。

健康相談

姙娠子宮內膜炎の手當

（問）私は今年十九歲の女で姙娠一ヶ月目から白帶下がありましたが、姙娠四ヶ月目になる今日迄依然として繼續的に時々下腹及腰が十分か十五分位づゝ痛くなつた後、〇部に氣味の惡い冷さと酷い痛さとを感ずると共に知らない間に惡臭のある白帶下が少量づゝあります、以前は何事も無かつたのに姙娠後斯樣な病氣が發生致しましたので、家庭的に餘り惠まれない私は胎兒には別に支障は無いだらうか、永續的に有るだらうか、何か家庭的治療法は無いだらうかと色々思案して居る現狀で御座ゐます（A、E女）

（答）姙娠一ヶ月頃から白帶下がありそれが四ヶ月の今日に到る迄繼續し、且つ下腹痛や腰痛を訴へてゐられる事は姙娠に併發せる子宮內膜炎を疑はせます、お問合せの文句から今度始めて姙娠らしく察せられますが、正常姙娠の場合には多少の白帶下がありましても其れが惡臭を持つたり、痛みと共に發現する樣な事は絕對にあり得ませんし、他方貴女が現在訴へてゐられる自覺症狀は姙娠子宮內膜炎の典型的徵候を備へてゐる樣に思ひます、姙娠子宮內膜炎と云ふのは姙娠前から既に存する子宮內膜炎の繼續として起る事が多く、且つそれも淋疾性の場合が大多數ですが、勿論姙娠中の淋疾感染によつても起り得ます當女は以前何事もなかつたと言てれてゐますけれども淋疾性內膜炎の疑を否定する事は勿論不可能です內膜炎子宮に姙娠しました場合胎兒の發育、其の他の姙娠經過に何等の異常を及ぼす事なき場合も稀にはありますが、最も懸念されるのは流產の危險でありまして、幸ひ此の流產を免れましても、姙娠末期に於て前置胎盤となつたり又は其の以前に於て子宮內にて胎兒の死亡する場合が往々に見られます、よしんば分娩期まで安全に經過したとしても產褥時に於て子宮內炎症の急激なる惡化を來し、殊に淋疾の場合喇叭管炎より骨盤內腹膜炎に迄發展する危險がありますから、何れにしても之れは其の儘放置する事は出來ません、治療は家庭的方法は勿論不可能な事ですから、貴女の場合は姙娠四ヶ月迄進んでゐるのですから流產の危險は少なくなつたとしても、一日も早く都合をつけて專門屋の診察を乞ひ醫師の正しき指導の下に病氣の治療と姙娠の保護を受けねばなりません適當なる治療によつて病氣の快癒、姙娠の健全なる繼續を行ふ事は胎兒に對する母親としての貴女の人間的義務と言はねばなりません（回答者 新京特別市中央通保健所婦人科醫學士 片山正）

コロチャン 45

ダレモヰナイヨ イマノウチニ ハヤクデヤウ

バクダンノ ヘヤハコヽダ ヤッ アルアル

ヨルニナッタカラ コイツヲ コッソリ ハコビダスンダ

クライカラ オッコチタラ タイヘンダヨ ハレツスルカラネ

コッソリ カイヅクリドモノ トコノナカヘ イレルンダ

グーグー

けふの番組

十四日 水曜日 新京放送局 M・T・C・Y

朝

七、五〇（大連）ラヂオ體操・入港船のお知らせ
八、一〇ニュース
八、一五（大連）初等滿洲語講座 幸勉
八、四〇（大連）朝の音樂
一、歌劇 リエンチ序曲 ワグナー作曲 管絃樂
二、歌劇 コシ・ファン・ツッテ モーツアルト作曲 伯林國立歌劇場管絃樂團
九、〇〇氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東京）經濟市況
九、四五建國體操
一〇、〇〇（大連）家庭講座 子供に聞かせるお話に就て 大連彌生高女教諭 石森延男
一〇、二五料理獻立
一〇、三五家庭メモ
一〇、四〇（大・新）經濟市況
一一、三五（大連）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

晝

〇、〇一（奉天）晝の演藝 琵琶 加茂川の露 藤旭鷹
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇〇（大・新）經濟市況
三、〇〇（大・新）經濟市況
三、二〇（東京）經濟市況
四、〇〇（東京）ニュース 氣象通報、ニュース
四、四〇（大・新）經濟市況
五、二〇ニュース「鮮語」

夜

五、三五（奉天）演藝「鮮語」
六、〇〇（福岡）子供の時間 お話 動物同士の戰爭 理學博士 大島廣
六、二〇（大連）コドモの新聞
六、二五（哈爾濱）趣味講演 札蘭屯の鑛泉を語る 梅田滿洲雄
七、〇〇（東京）ニュース
七、〇〇（新京）ニュース・告知事項・今晩の番組
七、三〇（東京）國民歌謠 國こぞる 金子基子作詞 信時潔作曲 指導 長坂好子
七、四〇（大阪）講演 高石眞五郎
合唱 大日本聯合婦人會御茶の水家庭寮合唱團 伴奏 東京放送管絃樂團
八、〇〇（東京）義士の夕 浪花節交聲曲 忠臣藏 梅原秀夫 渥美淸太郞作 伊藤昇作曲 合唱 ルナ・オリオンコール 伴奏 東京放送管絃樂團 伴奏指揮 久岡幸一郎
八、三〇（東京）ラヂオ小說 大石藏之助 渡邊霞亭作 德川夢聲
九、〇〇（東京）連續講談「義士銘々傳の內 討入」 一龍齋貞山 （終席）
九、三九（東京）時報・ニュース・ニュース解說
一〇、〇〇氣象通報・ニュース・告知事項・明日の番組
一〇、三〇ニュース再放送
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間
アナウンサー古島（朝）池谷、荒井（晝）渡邊、田中、上森（夜）

考へたりな 浪花節交聲曲

（後八・〇〇）義士の夕に「忠臣藏」

大衆娛樂浪花節の新趣向としてピアノやオーケストラの伴奏をつけるといふ話が進められてゐるが、今度AKでは一足先にこの新形式の伴奏付浪花節をマイクを通して實現することになり十四日「義士の夕」の一部として午後八時から三十分間放送する、これは渥美淸太郞氏が原作、伊藤昇氏が伴奏曲を作曲、浪花節は梅原秀夫氏が出演、その間に合唱や獨唱が交つてルナ、オリオンコールが出演、東京放送管絃樂團が伴奏するといふ賑やかなものである、大體の行き方は左の如くである

×　×

前奏があつて―フシに入ると元祿の盛時を象徵する洋樂の

古きをたづね新しく、洋樂入りの試みは、如何なる結果を生みますか、四十七士が討入りの、その日に因む新趣向御批判願ひたてまつる……

で、前口上が終ると、合唱に移る

（合唱）春は彌生花の雲
爛漫の江戶櫻、
亂れ競ふ元祿の頃
世は泰平に
日は長閑に
いざや唄はん若き今を
いざや踊らん若き今を

合唱が終ると、浪花節の「地」に入つて「殿中刄傷」の場景が浮び上つてくる……吉良上野を切つた淺野內匠頭、これを後からだきとめた梶川與惣兵衞、サア殿中は大騷動―そこへ合唱が入つて

（合唱）切つたか切つたぞ切つたか
刄傷ぢや
相手は誰だ
相手は知らぬ
切手は誰だ
切手も知らぬ
大手下馬先右往左往に
湧き返る侍の浪
侍の浪湧き返る

×　×

「殿中刄傷」の場面の伴奏音樂を第一樂章とすれば、第二樂章は「城開渡し」となる……更にこの形式を押して行つて、お輕と大石內藏助が別れの場景が第三樂章となり、第四樂章は最後の「討入り」の場景となる……

つまり、和洋合奏風でなく伴奏曲もその筋の運びによつて、充分テーマを持つて音樂としても獨自性を持つてゐるもの……これが、今度の「浪花節交聲曲」の新しい趣旨であらう

討入りの最後は「節」と「合唱」の交聲裡に大團圓となる……拔き書きしてみると

×　×

節〃忠烈無比の人々に、神も擁護のなからんや、卑怯未練に離部屋へ、隱れせし上野を見出すは間重次郞

（合唱）雪風に叫ぶは呼子喚聲あげて、駈け來る面々

節〃主君の仇と、上野の首級見事に討ち落し、すぐに手向けの主君の位牌

（合唱）勝鬨の聲えい〳〵おう、浪花節合唱名譽を末世に傳へけり。

といふ、甚だ愉快なものである、尙「交響曲」といふ言葉を用ひる豫定であつたが穩當でないので「交聲曲」と名付けることゝなつた

軍馬美談

◇物言はぬ戰士軍馬に絡まる美談はこの事變中數知れぬほどにあるが、○○部隊に屬する牝馬で出征前既に懷胎してゐたのが陣中で出產仔馬は兵士達の作つた箱に入れられて行軍をつゞけ、大休止每に親馬が待ち兼ねたやうに仔馬に乳を含ませてゐたといふやうな話をきくと皇軍の將兵の愛馬心の深さも窺はれてまことに淚ぐましいものがある。

◇今度の事變で機械化部隊の活躍はめざましいものだがだからといつて軍馬の入用が少くなつたといふので却つて新しい必要さを感じさせ今後の馬政計畫にも大きな參考となつてゐるといふ事だ。キング新年號に福富騎兵中佐が軍馬美談の數々を發表、大いに國民の注意を喚起してゐるが前述の話もこの美談の中の一つその後、この親馬仔馬は樂しくぢやれながら八百里も行軍をつゞけたといふことだが、その他のどの話もどの話も感激あふれるものばかり、これが大雜誌キングに出たことは非常によい計畫だとして賞讚されてゐる

學藝

創作

渡滿日程（續）（五）

―從軍時代―

河利致

『梶田軍曹！お前は部下を率ゐて直ちにあの土塀内に陣地を構築、背後方面の警戒につけ！』

部隊長は馬上からかう命ずると、副官、旗手の花輪中尉坂田軍醫其他本部要員を隨へて先刻副官が進言した左後方の民家に馬の頭を向けて、びしやつと拍車を入れた。豫備隊の山崎部隊はもう既に連絡濟とあつて、同隊は一足先に土塀のある民家附近に、移動してゐた。

日中の十一時といふに一帶暗かつた。眞夏であると言ふにホロ寒さを感じた。雨が引つ切りなしに降りしきつてゐたからである。

銃聲はまだ聞えてこない。敵も味方も未だ接近し、交戰してゐなかつた。

かなりに戰機は逼迫してはゐた。

兵士たちの面貌には、悲壯な決意がはつきり浮かび上つてゐた。

重い彈藥箱を擔いで雨の煙の中に消えて行く兵隊の姿は銅像のやうにガッチリして見えた。

梶田軍曹は土塀の北側兩角に、土塀を利用して内側から堅固な陣地を構築し了へてから、銃手以外の兵を監視線につかせ銃手には『一言訊いて置きたいことがある』として兩陣地を結ぶ壕の中、アンペラや莚を寄せ集めたもので、土塀から地面に垂れかけて急造した屋根の下の塹壕の中に一列横隊で蹲がませた上、五分間ばかり、今日の戰鬪に對し銃手としての重大任務は何か！と、最後的の腹を質問した。兵隊たちは期せず大聲を張りあげて『最後の一兵となる迄射撃を繼續することにあります。それから、機勢なる火力を以て敵を潰滅することであります。』と答へた『さうだ最後の一兵となる迄、射撃を繼續することである。』

梶田軍曹はにつこと笑つた。兵隊たちも莞爾と笑つた。

『今日の戰鬪は豫期してゐた以上に激烈となるかも知れない。自分たちは、十字火力を浴びせて、軍旗を護らねばならぬ。一兵となるまで敢然鬪はなくてはならぬ。いいか！この中に萬一、戰死することなく生き還ることのできた者があらば、その者は戰友の英靈を懇に弔つてやれよ。』

梶田軍曹は鐵兜を被り直してから話を結んだ。

兵隊たちは、辷り轉びさうになりながら壕の中を各々の陣地に戻つて行つた。

『分隊長のお話は何にか？』

彈藥係りの礒田一等兵はけげんさうな顔をして依田上等兵にたづねた。

『喜んで死ねッてことだ。生き還つちやならねえッてことだ。彈の盡きる迄鬪ひ、最後の一兵となる迄射撃を續けろッてことだ。不幸にして生き殘つたら、戰死した者の靈を祀つてあげるんだつてことだ。』

依田上等兵は、機關銃の槓桿を握り締め故障の有無をもう一度點檢しながら、さう傳へた。

雨の大粒が鐵兜からポトポト流れ落ちた。

彈藥箱の上に落ちた雨滴は滲み込んだ泥にははね返へされて彈藥手の眼の中に飛び込んでいつた。

銃手も、彈藥手も、脊中に雨を載せてゐたが彈藥と、屬品匣とには雨の降りかからぬやうに鎧を被せて置いたり、ドロがはねあがらぬやうに藁をその附近にばら撒いて置いた。

正午は何時の間にか過ぎ、腕時計は雨に浸つた中から午後一時二十五分を指してゐた。

今朝、朝飯を喰べて以來、兵隊たちは一粒の飯とて腹の中に入れはしなかつた。けれども、兵隊たちには胸に未だ朝の飯粒が詰まつてゐるやうに感じられてゐた。

兵隊たちは大きな眼を開けて、黑光りのある眼玉を、土塀の向ふに横たはつてゐる畑の上に注いだ。

『あッ！。』

四番の銃手であつた林田初年兵は、右手の握り拳を、崩れた麥藁束の方向に突き出して短切に叫んだ。

『あッ！。』

小野村上等兵も上半身を前の方に突きだして叫んだ。

畑の右端の藁束の方向に、四百米、三百米、山七面鳥みたいな恰好をした小屈み姿がむくむく現はれでた。

雨が雨を打つ音は、急に大きくなつた。

『敵襲だ！敵だ、敵だ。』

兵隊たちは途端に息を殺した。

『林田！分隊長に報告しろ…敵が、前方、三百米。』

『はい！二分隊にも報告します。』

林田二等兵は壕に躍りあがつて、二分隊に駈けだした。

同時刻頃であつた。

轟然と、本部となつてゐる民家の土塀を中心として、銃砲隊の火蓋が切つて開けられたのは。

主攻撃の矢を向けてゐる敵の據點陣地附近には、賊彈が完全に豪雨を彈ね返へし、刻一刻、敵の銃火、砲煙を制壓して行くやうにも感じられたが、時として味方の一線で地響のする砲彈が炸裂して、今しがたの賊聲を夢のやうに打ち消しもし、前進を阻む風にも思はれた。

梶田軍曹は、この戰は彼我借に惡戰だ、と心の中に呟いた。

林田二等兵の報告を受けた時、山内部隊長以下本部にあつた將士は、敵が意表に出てきたのに對し決然新たなる策戰を練つたが、梶田軍曹は脣を横一文字に搦つて『軍旗を護れ！このことが自分の最後の任務だ。』と、熟考の容を整へた。

銃眼から覗んだ視界には、重なり合つた屍の上を飛び越えて勇敢に前進してゐる敵兵が充滿してゐた。

赤い總を附けた槍の先が薄の穗のやうに搖れ、やがてそれは、秋の野に燃え擴げられて行く紅蓮の炎の如く靡いて土塀に吹きつけられてきた。

一大音響で望樓が中空に舞ひあがり、崩れた土塊は、押し流されるやうにして塹壕を埋めた。

梶田軍曹は、曾つて故郷の畑に、土まみれとなつて働いた故郷の小學校に愛の涙に咽び乍ら働いた。

彼は曾つて故郷の土に、恨みを抱くようになつてしまつた。故郷の人々に愛着を失つてしまつた。生きる事にさへ望みを失つた彼であつた。

而し乍ら、今、戰場の野に立つてゐる彼には目的が何んにあつて生きてゐるのかを明瞭に知ることができてゐる。

『喜んでお死に……死は。』

新年文藝懸賞募集

愈よ締切せまる！

恒例により本社が新年文藝募集の擧を發表するや忽ちにして應募作品相次ぎ机上に山積の狀態であり企畫者として喜びに堪へない。ところで愈よ締切日は切迫した。選衡に時日を要する故締切延期は不可能である。期限内に振つて力作佳品を寄せられたい。

規定

一、創作（小說、戯曲）四百字詰原稿紙二十五枚以内
一等　二十圓　一名
二等　十圓　二名
選外佳作本紙三ヶ月分購讀券

一、詩（題隨意一人一篇）
一等　十圓　一名
二等　五圓　一名
三等　三圓　一名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

一、短歌（一人三首以内題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

一、俳句（一人三句以内題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

一、川柳（一人三句以内題隨意）
一等　五圓　一名
二等　三圓　二名
三等　一圓　三名
選外佳作　本紙一ヶ月分購讀券

選者

短歌は三井實雄氏、俳句は三木朱城氏、その他は本社編輯局選

注意

短歌、俳句、川柳はハガキを使用されたい、創作詩は原稿紙

送り先は「新京永樂町四ノ一新京日日新聞社編輯局」宛、なほ封筒表皮、ハガキは裏面に「新年文藝應募原稿」と朱書のこと

締切

昭和十三年十二月十五日

發表

昭和十四年一月一日本紙上、なほ賞金、購讀券は發表後一ヶ月を經て送附す

バダゲキ欄

努力した小品

―池淵鈴江「支那の歌」（『新天地』十二月號）―

この人の從來よく書いた貴族趣味のただよつたものには好感を持てなかつたのだが、今度の作は趣きを異にしてゐる。

第一に、これには子を亡くし妻に去られた男といふのが「私」になつて居り、いつもの作者の小主觀が閉ぢ込められてゐるのである。第二には、この男の相手となつて登場するのが十九才の支那のボーイなのである。その小さな子供の妙にかたくなな態度、その子供との交渉などが達者な筆で書いてあるわけである。そこへエスペラントをやる姻戚の女が現はれたりする。

一種の生活風景の描寫。一つの規矩の中にある狹い生活の描寫。それだけなのであるが、おちついた作者の眼と、斯うした世界に對して持つ愛情とを感じさす小品であると言はう。作者の努力も知られるのである。（御垣衛士）

狂歌

无志幾

戰勝の歳暮
皇軍の北から中へと揚子みて南なゝめて年はくれゆく。

長江週航要求
英美と尻をまくつて甘いしる流れる揚子うまいて候。

滿洲文學回顧（3）

特殊的分野について

大内隆雄

こゝには文學のいはば特殊な分野といつた方面について回顧しやう。

第一にいはゆる大衆文學である。私は本來大衆文學と純粹文學（若し敢へてさう言つた言葉が必要なら）この間に何も本質的な區別があらうとは思はぬのだが、こゝには便宜上世俗的な概念の持ち方を借りて來るだけである

ところで滿洲大衆文學陣の人といへば、先づ多木羊二、奥一、長谷川濬等の諸氏があげられるであらう。そして事實これらの人々は本年度に相當の活躍を示した。尤も多木氏にしても長谷川氏にしても御本人自體が俺のは大衆文學ぢやないよと言ひたいかも知れぬ、ただ世間では一般に同氏らのを大衆文學として扱つてゐるやうであり、或る程度さうした享受の仕方にうなづけるものもあると思ふのだ。多木氏が『健康滿洲』に書いたユーモア物、長谷川氏が『モダン滿洲』に書いたもの、何れも相當の力作であつた。奥一氏は「カンバスは描かれるか」に大いに力を入れたやうだつたが、私の見るところではそれよりもモデル小説といふべき「大陸の花辧」の方が彼の作家的力量をよく示してゐたやうだ。これらの作家に望みたいことは、才人才に溺れず、更にその作品に盛るところの世界觀といつたものをしつかり築き上げてほしいことである。そしてその上で一つ大いに滿洲のゴーゴリなりセルヴァンテスになることを期して貰ひたい。

その次には映畫文學と行かう。映畫文學？そんなものがあるのかといふ疑問も起らうか、まあ難しいことは別として滿洲映畫協會の誕生以來、そして雜誌『滿洲映畫』の創刊以來、滿洲でも映畫と文學との結び付きは大いに緊切になつて來たことは確かだ。別の言ひ方で言へば、滿洲の文學人が大いに映畫のために動員されたのだと言へる。そして、映畫論、シナリオ、ストオリー等々が私達の前に現はれた。尤もその大部分が素人臭かつたのは仕方がない。中にはそこばくのストオリーを書いて「無斷映畫化を禁ず」なんて附記した强心臟の持主もあつたなんて御愛嬌もあつた。結局、この分野は萌芽時代であつて、見るべきこれといふ收穫もなかつたと言ふべきであらう。ただ滿人の側に於いて演技論や觀衆論などに眞摯な進出があつたことを記して置かう。

第三には、演劇との聯關で言ふのだから、これは脚本の提供といふことになる。さて、この點でも今年の滿洲では貧弱な成績しか見られなかつた。大同劇團が實際に取り上げたものについては周知の通り。その外ラヂオドラマ等も碌なものはなかつた。勉强勉强である。ただ滿人の側で漸くこの方面に進出する人が出て來たことは特記して置かう。まだ見るべき成績はないにしてもそれは曾つてなかつたことで將來を期待出來るのである。（完）

書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

△滿洲鑛業協會會報（十一月號）上村一郎「滿洲に於ける非鐵金屬鑛業の趨勢と將來に就て」「支那の鑛産時代及鑛産區域」「火藥座談會」その他鑛業關係の記事多數（新京西三道街、滿洲鑛業協會、五角）

△法律時報（十二月一日號）長尾和夫氏の論文「王道國家と法治體制」は注目すべき收穫であらう（大連市伏見町五四、法律時報社、二十錢）

△滿洲大同佛教會總會概要―同會の規則、事業等を概說したもの（新京市東四道街滿洲大同佛教會總會）

△全國農村工業常報（十二月號）東京市本所區横網丁六全國農村工業品販賣所、四錢）

家庭医薬

寒さで増悪する胃腸病とその手當

醫學博士　岡部卓也

胃腸が弱いとどうしても榮養が惡く、全身の機能が活潑を缺き、寒暑に對する抵抗力も弱いのですが、暑い時には食傷りや消化不良から、また寒い時には冷え込みや運動不足から、種々の胃腸障碍が起り、ひいては衰弱のため結核などの餘病をひき起すことも少くないのです。

この様な胃腸障碍も、最初は輕微な胃腸カタルの形で現はれるのが普通で、即ち胃部のもたれる感じ、輕い腹痛、下痢といつた様な症狀で、この程度なら普通の消化劑や整腸劑を服用し懐爐で腹部を暖めたりする位で輕快しますがそれに狎れて、徹底的な養生をせず、またしてもそれを繰返してゐますと、ついには慢性となり、症狀が増惡して、容易に治癒し難い破目に陥ることになりますから、是非とも最初の輕い症狀の中に、徹底的な病原療法を講ずる必要があります。

從來胃腸病の療法といへば、食養生が最も重んじられ

＝消化＝

し易い軟かい食物を選んで食べると同時に、消化劑、整腸劑を與へて胃腸の働きを補助する方法が行はれてゐましたが、最近この療法以外に多分の特徴を持つた有効な方法が發見されて、廣く行はれる様になつて來ました。

第一食養生として、軟かい物許り選んで食べることは、食物の種類を偏らせ、榮養が偏頗に陥る許りでなく、消化劑の濫用と相まつていよ／＼胃腸を無力にする惧れが多いのであります。

そこで最近は食養生といつても軟かい物といふよりも、榮養に富む食物を、成可く多種類に亘つて攝り、よく咀嚼することに努めると同時に、消化、整腸劑の濫用を廢し、胃腸の自力を強める複合ヘーフエ菌劑若素（わかもと）の様な生治療劑を服用することが推奬され、治療の効果も大に揚かつて來たのであります。

ヘーフエ菌劑には、多くの種類があつて、中には著るしく効果の劣つてゐるものもあるのですが、若素（わかもと）は純藥用として特に

＝選擇＝

された優秀な菌種を專門の大工場において複合製劑したものでありますから効果においても他劑とは比較になりませんがこの藥の特長は、人體組織の根本單位たる細胞原形質に活力を與へて、衰弱した機能を病原的に恢復させるのでありますから從來の胃腸藥が單に胃腸の働きを補助したのと違つて消化吸收能力の自力更生を試みるのであります。

從つて連用してその効果を減ずるとか、習慣性になるとかいふ様な惧れは少しもなく、却つて體組織を强健にし、體質を改善して行きますから、平生から病弱で寒さに弱り易い方の保健常備藥として何よりであります。

ひゞや凍傷は食物で豫防できます

此頃は、顔や手足があれ易く殊にお臺所で働く婦人方はひゞや凍傷のために冬季中惱まされる様なこともあります。

これは、寒冷の刺戟によつて皮膚の生理機能に變化が起り、鬱血を起したり、水分や脂肪の分泌が減つて皮膚がカサ／＼になつたりするためであります。

體質の上から云ひますと、最もその害を受け易いのは

＝滲出＝

性體質、貧血性、或は胃腸障害、婦人病などのある人で、斯ういふ人達は、一體に榮養不足でありますので、皮膚組織に對する榮養が行渡らず、血液の循環が惡いために皮膚が荒れて、ひゞやあかぎれとなり、また鬱血を起して凍傷となるのです。

だからこれを癒すにしても、また豫防するにしても、外から皮膚局部の手當をするだけでは駄目なので、先づ根本原因となつてゐる内部の榮養障碍を除くことが大切なのであります。そこで最近では食餌によつて

＝榮養＝

の缺陷を匡正し、自然に皮膚を丈夫にするといふ方法が唱へられる様になりましたが、それには若素（わかもと）の内服が最も合理的であります。

若素（わかもと）は、純正の藥用ヘーフエに緑狀菌中の醫藥的効果の多い成分を複合し藥劑としたものでその應用範圍は非常に廣く結核、胃腸病等の慢性内科疾患から、蕁麻疹の様な皮膚病にまで用ひられます。これはちよつと奇異に思へますが、若素（わかもと）の組成と藥效とを知つてみれば、奇異でも何んでもありません。

この藥の組成をみると、先づ十數種の活性酵素があつて、これが生體を組織する

＝細胞＝

の機能を活潑にし、障碍を恢復しますが殊に胃腸細胞を强化して消化吸收を促進する効果があり、自ら榮養が旺んとなり、貧血なども恢復に向ひます。

その上、酵素の外に、脂肪、蛋白、アミノ酸、ビタミン、無機鹽類等、人體必須の榮養素も萬遍なく含んでゐますから、この胃腸を强める効果と相俟つて體内に榮養が充實し、體質も强化されますから、血液の循環も活潑になつて、ひゞ、凍傷を起す内部的原因は除去されるのであります。

この若素（わかもと）は東京市芝公園大門わかもと本舗榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から三百錠入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢、小兒には二三錢の廉價で發賣されてゐます。尚滿洲、中華民國の各地藥店でも取次ぎ販賣して居ります。

不規則な生活から胃腸病に

（編輯）茂野吉雄

私は生來胃腸弱く、小學校當時よりしばしば消化不良、常習便祕に惱まされ、その爲に體力も人並より弱く、學科の點數も他は兎も角體操は必ず乙又は丙といふ不甲斐ない成績でした。

二十歳の時青雲の志止み難く都會に出ました。都會では職業上不自然な生活を始め、又交際上しばしば飲酒過食しました結果、ひどく胃を痛め衰弱は日毎に募り、記憶が減退し、自分ながらもつく／″＼情無くなる仕末にて、一時は田舎へ歸郷し様かと思ひましたが、何分一旦故郷を出て人並にもならず歸郷する事は良心が許さず、如何したものかと考へました結果、始めて『錠劑わかもと』を服用する氣になつたのです。

そして適當なる藥と養生により必ず治す事が出來ると固い決心の下に『錠劑わかもと』を服用する一方、早朝より海岸の散歩をし夜分は出來る限り早く就寢する様心掛けて×ケ月、藥效目に見えて現はれさしもの難病も見事に快方に向ひました。念の爲一時服用を中止して見ましたが、依然として胃腸は健全であります。

皇軍慰問　わかもと吉子

北園龍二

カンコウヘユクマデドンナコトガアツテモガンバルゾ

チズヲヨクシラベテユキマセウ

カワイサウニイヌガ

ツカレテヰルノダヨ

錠劑わかもとヲヤリマセウ

シツカリシロヨイクスリヲヤルヨ

アリガタイデスネ

錠劑わかもとノオカゲデゲンキニナツタサアハタラクゾ

天皇陛下 多摩陵御參拜 仰出さる

【東京國通】天皇陛下には來る十九日多摩陵へ御參拜あらせられる旨十三日仰出された

宮樣方の御作品 「小ざくら」事變特輯に

【東京國通】學習院初等科では昭和二年以來機關紙「小ざくら」を發行、在學生の綴方習字、圖畫、童詩、和歌、俳句を選び掲載し誌上教育に多大の效果を收めてゐるが十二日その第廿四號が武漢三鎭、廣東陷落の後を承けて特に事變特輯の形式で發行された、今回發行の「小ざくら」には畏くも御在學中の宮樣方の御作品が卷頭に拜され、しかも各御作品は皇軍の漢口陷落を御祝ひ遊ばされるばかりでなく皇軍將士の勞苦を偲ばれ、勇士慰問に心をとめられ銃後の御覺悟の程に範を示されるなど尊き御身の御精勵には野村院長各教授をはじめ父兄生徒一同恐懼感激してゐる、御作品は左の如し

賀陽宮治憲王殿下（六年御在學）

「漢口陷落」待ち侘びしサイレンの音に國民の萬歳聞きつゝ父に文かく

「勇士慰問」傷つきしわが日の本の武夫とくつろぎ語る今日のうれしさ

東久邇宮俊彥王殿下（五年御在學）

「日章旗」日章旗高く輝く城壁に萬歳の聲一度に起る（外御一篇）

久邇宮邦昭王殿下（四年御在學）

「漢口陷落」ラヂオでは武漢三鎭完全に攻略せりと聲の勇まし

「銃後」戰場で銃を持てない僕達はからだ丈夫に心鍛へて

賀陽宮章憲王殿下（三年御在學）

「漢口陷落」漢口陷ちた、漢口陷ちた、武漢三鎭漢口陷ちた、日本の兵隊さんうれしかろ、僕等も皆んな大喜び、提灯行列、旗行列、後から後から續いてく、天皇陛下萬々歲、日本帝國萬々歲

賀陽宮文憲王殿下（一年御在學）

「カンコウカンラク」カンコウオチタオイワイニ、チヨウチンゲヨウレツヤツテキタ、ボクモテヨウチンフツテオイワイシタ、カンコウカンラクウレシイナ、ヘイタイサンモウレシカロ

嬉しい野菜の大洪水！

かねて用意の穴藏 頃合ひはよし イザ開かん 値段も二、三割引下げ

例年の如く最近市內野菜は白菜一斤六錢、大根一斤四錢にはね上り、酷寒市民のお台所をぢり〳〵と脅威してゐるが頃合は良く四、五日時をみ計つてかねて用意の、南關、大同公園裏、東公園の穴藏の新鮮豐富な野菜類が慌だしい歲末の國都市場にどつと雪崩れ出ることゝなつた、新京特別市が指導し淨月區農家組合の經營する大野菜穴藏は前記三ヶ所であるが今秋新京郊外農民の收穫した內地物にも勝る優秀な白菜、大根、人參、ねぎ、牛蒡、ポテト等の野菜類約二十萬貫は南關貯藏庫八棟（一藏巾五米高さ三米長さ廿五米）大同貯藏庫七棟、東公園二棟にぎつしり、つめこまれて居り、專門家の手に依つて貯藏したので上々の成績で腐敗したものは一つもなく未だ收穫當時の水々しい新鮮味をそのまゝに保持して居り、歲末から新春にかけてこれ等の野菜が中央御賣市場を通じ市民のお台所にどつと流れ込み、價格も場合に依つては指し値とし市價を三、四割方引き下げ樣といふので四十萬市民にとつてはこの上もないうれしい話である、前記三ヶ所の穴藏一朝事あつた場合は避難所に早變りし得るもので來年からは約四十萬貫も貯藏すべく計畫してゐる、なほ大同公園貯藏庫では全滿一の定評ある石碑嶺大根を百樽澤庵漬にして試作してゐるがこれも成績良好なので近々中に野菜と共に市場に出る

てゝあると便所汲取夫から西公園派出所に通知があつた、中央通署で現場檢證の結果黑い布に包まれた生れたばかりの赤ん坊で生後直ちに死んだものを遺棄されたものとの見込である

水谷八重子さん 出產のお目出度

【東京國通】藝術座の盟主水谷八重子さんが森田勘彌丈と結婚したのは昨年九月であつたがそれから一年半の今日八重子さんはお目出度の身となり來年六月頃には母親にならうといふ、彼女は目下東寶劇場に猿之助一座と合同出演で活躍してゐるが、このため舞臺も今月を最後として出產まで靜養することゝなつた

寺內大將各社のカメラに收る

【東京國通】北支に三軍を指揮すること一年三ヶ月、赫々たる武勳を沈默に包んで十二日晴れの入京、帝都の第一夜を九段偕行社に明かした寺內壽一大將は十三日早朝一階の應接間に軍裝に固めた姿を現はし待ち受けた各新聞、通信社のカメラの前に機嫌よく立ち

寫眞に幾ら撮つてもよいが話すことは何もないよ、ただ有難うと言つてもらひたい銃後國民の赤誠には深く感謝してゐる、それだけを國民に傳へてもらひたい

と言葉少なく語つた、なほ寺內大將は午前九時半偕行社を出で各宮家への御禮廻りをなした

武部日滿商事社長記者團と會見

武部日滿商事社長は十三日午後六時より中銀クラブに於いて在京御者團と會見懇談を遂げた

夜の一人歩き 御婦人方に注意 年の瀨、物騷な世間

年末特別警戒の嚴重な警戒網をくゞつて最近國都郊外に客馬夫を專門に襲ふ强盜が續々と出現、馬車夫を戰慄せしめてゐるが、いづれも警備手薄と見られる不便な郊外に於ての兇行で隨つて屆出も遲く犯人に悠々と逃走の時間を與へる情況にある、世智辛い年末押し迫ると共に必然この種犯罪も增加を豫想されるものでこれについて島貫搜查股長は市民に對しとくに婦人へ左の如く警告した

最近客馬車を襲ふ强盜が出現世間を騷がせてゐるが年末切迫すると共に婦人方は色々の買物等によつて夜遲くなることもあり勝ちのことゝ思ふ、然し夜の一人步きとくに人目に目立つハンドバッグを抱へる等はかへつて犯罪を誘發するやうなもので危險である、幸ひに最近婦人が襲はれたと言ふ事件はないが、轉ばぬ先の杖である時局柄十分の注意をしてもらひたい

內祝ひと新年を迎ふるに當り門松その他準備を質素にしたものを時局柄銃後の國民の義務の一端を盡したいと云ふにあつた

長官、次長と懇談

星野總務長官は米穀管理制度の實施に伴ひ開催の次長會議に出席した全滿各次長を十三日午後四時より中銀俱樂部に招宴、文官令その他政府要務に關し隔意なき意見の交換を遂げた

實兒の凱旋祝ひに うな新土獻金 本社へ百圓寄託

市內祝町三丁目青陽ビル「うな新」こと中野久直氏は十三日夕刻來社、金百圓を國防獻金したしと寄託したので直ちに所定の手續を了したが、右獻金は實兒中野權太郎氏が今次事變で應召出征中のところ無事凱旋した武運長久感謝の

又嬰兒死体 兒玉公園內に

十一日祝町に於ける胎兒遺棄に續いて今度は兒玉公園內に又嬰兒死體が發見された、十三日午前九時頃兒玉公園スケート場東側に當る同公園共同便所便壺內に嬰兒の死體が棄

早くも門松 太子堂前にて

全滿一目指し 張切る空の尖兵 飛行協會支部 明年度の飛躍陣

航空第二線の尖兵滿洲飛行協會新京支部は十月擧行された全滿大會に輝やく記錄をのこして本年度行事を終つたが、飛行機練習生のみは阿部教官指揮のもとに零下三十度の耐寒飛行に、或は學科に、待望の二等飛行士受驗準備の猛訓練が連日續けられてゐる、同支部では來るべき非常時に備へ支部の內容を一層擴大强化するため目下明年度の飛躍的行事の計畫立案が進められてゐるがそれによると

飛行練習生は一月初飛行、二月には紀元節祝賀飛行、三月新會員募集と新年早々から大馬力をかけ一方グライダーは四月練習開始、六月滿鐵班をトップに合宿練習を始め、八月には今までの平地滑空から初めて吉林の山岳滑空に合宿練習を開始、九月本市の大會出場、十月朝日新聞主催日本グライダー大會出場、十月各班終了式擧行まで全滿一の支部を目指して邁進する筈である

撫松、臨江縣境で 匪首西來好捕縛

白頭山脈の密林を縫ひ白雪を蹴つて殘匪掃蕩中の東邊道討伐隊山內猛夫上尉の指揮する遊擊隊は十日早朝撫松、臨江縣境一四〇七高地附近において匪首西來好以下十六名の潛伏してゐる山寨を包圍し匪首以下全員を逮捕、鹵獲を奏した、同時に小銃三、拳銃一、洋砲五、糧食約四十石、その他野菜、味噌等多數を鹵獲した

綏化、神樹間鐵道 あす假營業開始

かねて建設工事中であつた北滿開拓の重要幹線鐵山包―神樹間鐵道（三三、九キロ）は今回大體工事完了したので目下假營業中の綏化―鐵山包間を更に神樹まで延長し來る十二月十五日より綏化―神樹間（一三五、八キロ）の假營業を開始することに決定、十三日鐵道總局よりこの旨正式に發表された

各個所對抗卓球

體育聯盟新京事務局卓球部主催第二回各箇所對抗卓球大會は來る十八日午前九時より西廣場小學校に於て擧行され、試合方法は一チーム五名しトーナメント式で十五日申込み締切り十六日市公署で抽籤に依り組合せを決定する

滿系警官に時局講演會 首都警察廳では管下警察官

の時局に對する認識を一段と深めるためしばしば時局講演會を開催しつゝあるが、十五十六日兩日午前九時半より本廳講堂に於て滿系警察官のために講演會を開催することゝなつた、講師は張鄕政總局長である

お役人連の"戒煙"に…… 希望の門ひらく 市立戒煙所愈よ近く店開き

阿片を吸食するものは滿洲國官吏たるを得ずといふ政府の强い阿片斷禁政策のお達しに依り今までかくれて阿片を吸つてゐた政府のお役人等が續々と戒煙を始めたので新京特別市立醫院ではこれ等中產階級以上の戒煙希望者のために市立醫院橫に百五十坪の一階建高級戒煙所を新設し、夏頃から工事に着手この程出來上つたので愈よ十七、八日頃落成式を擧行、直ちに店開きをなすことゝなつた、收容人員は三十人、百萬圓の費用を投じた戒煙所にしてはもつたいない樣な立派なものであらゆる設備が整へられてゐる

有閑婦人の火遊 夫に見付けられ家出

有閑夫人の火遊びが夫に見付けられこの家出、市內東光路三〇一居住某大會社勤務石川富雄氏妻女綾子（二七）は夫の目をぬすんで以前より寬城子頭道街杉谷清己（三一）と不義を重ねてゐたが、最近夫も薄々感付いてゐたのにもかゝはらず十一日夜夫の留守中に又に男を自宅に引入れて快樂にふけつてゐる所を豫定よりも早く歸つた夫に現場を發見され、その場はどうにか納つたが如何に鐵面皮な女でも居りにくゝなつたか十二日午後家出したまゝ行方不明となつた、多分男のもとへ走つたものと見られてゐるが男の住宅には男も居らず兩人手を取つて何れかへ高飛びしたもので無いかと目下搜查中である

滿鐵社員會更らに愛國公債購入 全社員に割り當て

滿鐵では戰時下の貯蓄獎勵に呼應全社員に對し今期ボーナス中一部を愛國公債で支給することゝなつてゐるが、滿鐵社員會では更に今回愛國公債五圓券六萬五千枚を購入全社員に割當てることゝなつた

獨逸滑空士五十時間の滯空記錄

【ケーニヒスベルグ十二日發國通】ドイツ滑空士ペデカーツアンダーの兩氏は十二日ケーニヒスベルグ附近のロシッテレで複坐グライダーを使用して滯空五十時間十五分の世界新記錄を樹立した

滿洲生命新契約 三百萬圓を突破

滿洲生命十一月の新契約は富家强國運動の一翼としての保險加入宣傳が奏効して二千百七件、三百萬圓を突破、月末現在契約三千百廿八萬八千四百圓を示してゐる

大谷尊由氏歸國

北支各機關に挨拶かた〴〵狀況視察の途にある北支開發會社總裁大谷尊由氏は滿洲國關係機關に新任挨拶のため二十日頃空路來京一泊日滿急行機で歸國の豫定

訂正

本紙十四日附夕刊藤原航空局長官國都入りの記事中左の如く字句を訂正、ひかりとあるを「のぞみ」交通部次長平井とあるを「平井出」「この一時を「この一事」今次では「今までは」こしらへた事「こしらへた線」思のてゐる「思つてゐる」にそれぞれ訂正

女性衛生相談部 國婦御自慢の計畫大當り！ きのふ店開き ワンサの盛況

滿洲國防婦人會のヒット、滿洲の子供は弱い、母性の衞生知識が低い等の聲に應じて新京支部が市公署衞生處、中央通保健所の援助を受けて立案した女性衞生相談部は其の後計畫も具體化して今後年末年始の特殊時を除いて每週水曜日に行ふことゝなりその第一回を十三日午後二時より同防會館日本室で開いた、これよい考へだと何處へ行つても好評なので鼻高々の星野支部長、飄屋副支部長始め各役員の顏も見える中を、相談にとて來所の奧さん方は赤ちゃんを抱いた大陸の若きママを始め老若合せて忽ちの中に百名近くといふ大盛況、受付順に混雜しない樣に願ひますと大勝さ、この日の先生は中央通保健所產婦人科醫長成松高品博士、小兒科醫長齋藤五彥博士の兩名で親切に簡單な診察やら健康相談に應接される、何といつても育兒相談が一番多く多季警居生活問題も相當眞劍に問はれて好成績の中に夕闇迫る午後五時過ぎ漸く終了した、第二回は來る二十日行はれる豫定である

椎名滿毛專務獻金

滿蒙毛織株式會社專務理事椎名義雄氏は十二日午前同社常務理事柏木勝光、同社永井調查課長、鈴木秘書の三氏を

して在京部隊を訪問せしめ國防資金として二千圓を獻金した

鈴木氏關東軍入り

滿洲防空協會設立以來防空思想の普及宣傳に多大の貢獻あつた鈴木察氏は今回協會を辭し關東軍報道班に入ることになつた

けふの天氣 北後南の風晴時々曇り後晴

きのふの氣温 最高零下二三 最低零下二三・一

「どんなに夜遲く迄酒をのんでも、仕事でつかれてもぐつすり寢て朝起きたらぢゃんぶとばかり風呂にとび込みさつぱりした氣持で、仕事にかゝる能率のあがること實に面白い位だ」ね▼とかくて獨身ハリキリ科長は滿洲國のそれの如くに限りなくハリキルのである、二日醉ぞ、疲れて能率のあがらぬ影薄き官吏連に朝風呂を推める所以である

市公署のハリキリ科長槇田大人は年來の習慣を變へて最近から朝風呂をやつてゐる▼曰く

若殿膝栗毛（わかとのひざくりげ）

中川雨之助

竹杉一郎畫

（二百三）

番士の悲鳴

窓で再び、飛州桃、奇妙院の穴倉へ、話を戻して行く必要がある
それは、深夜の出來事。
「ぎやツ」
只ならぬ叫びと、ものゝ斃れる地響きとが心身疲勞の夢から、長七郎を、ハツト呼覺した。
「若殿……長七郎さま……」
鐵格子外の闇に、チツと不審の眸を凝らす長七郎の耳へ、忍びやかな聲。
何者か……？敵か、味方か……？と、疑ふよりも、微光に映る格子外の光景が先づ眼に入つた瞬間疑ひも不安も一掃されて、歡喜の光が、キラ／＼と長七郎の胸に射して來た。
いまの悲鳴と地響きは、番士の斬り斃された物音だつた。
斬つたのは……？黒装束で、それは何者だか、知れないが、鐵格子に摑まつて長七郎を呼んだその者の右手に、白刃が光つて、敵意の無い、親しみをもつたその聲音を聞いただけで、長七郎は、もう安心して宜い、と悟つたのだ。
黒装束の男は、斃れた番士の腰を探つて、鍵を奪つて、鐵格子を明けてくれた。
危機一髪の場合である。
相手の何者であるかを知ることよりは、一歩でも早く、穴倉を逃れ出ることが、長七郎には急務だつた。
黒装束は、前に立つて石段を踏んで、默つて一語も發しない。
長七郎も、默つてあとに續いた。ジメ／＼とした地下の石段。手を伸ばすと、左右の地層の、ぬら／＼とした滑りが掌にふれる。人と人と擦れ違ふさへむつかしい、僅かに三尺に足らぬ抜け穴路である。
その曲り角で、パツト光線が、目の前へ開いて來た。
黒装束も、長七郎も、ハツと竦くむより先に、足がピタリと石段に吸ひ付いた。
交代時間で、番士の一人が、穴倉へ下りて來たのだつた。と、突然灯明りで、目の前に描き出された黒装束の姿に、番士は心臓が裂けるかと思ふほどの驚愕を叫んだ。
「わツ、誰ぢや」
しかしその聲の終るか終らぬ裡に、灯は消えて眞の闇、その闇の底で、もう番士の苦しい唸りが、聞えた。
黒装束のために、斬り伏せられたのである。
その謎の黒装束は、言ふまでもなく、さつき七個の黒影とともに紛れ込んだそれであつた。
その黒装束は、長七郎の先に立ち、暗黒の石段を登り切ると、番手の潜戸を開いた。
外の夜明りが、そこからパツと流れ込んだ。
厳重な戸締りも、内部からだと掛金一つで、雑作なく開くのだ。
長七郎は、目に見えぬ糸で、操られてでも居るかのやうに、黒装束のする通り、續いて切戸を潜り出た。外面は、寺院の庭のやうに、廣々とした庭園であつた。一面の芝生の所々に、植込がぽつり／＼と黒く飛んで居た。
久しく暗黒に馴らされて居つた眼に、突然外界の夜明りをうけ、長七郎は針を刺されるやうな眩しさを覺えた。
今宵の月光は、夜更けとともに冴えて冴えて眞晝のやうに下界を染めて居る。
その月光の、芝生一面に輝いて居るさまが夜目にはさながら、蒼々とした池水の漣波く漂ふやうで、ずつと向うに大きく黒く盛上つて居る蘇鐵の大株が、ちやうど池の中の隱れ島のやうに見えるのだ。